

## 【理事長講演】

3月3日（金） 10：30～11：10 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
理事長講演（PL）

座長：藤野 裕士（大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室）

PL 集中治療と日本集中治療医学会：これまでのこと、これからのこと

西田 修<sup>1,2</sup>（1. 一般社団法人日本集中治療医学会, 2. 藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

## 【会長講演】

3月3日（金） 9：40～10：20 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
会長講演（CPL）

座長：川前 金幸（山形大学医学部麻酔科学講座・附属病院高度集中治療センター）

CPL 風光る 2023～すきのその先へ

志馬 伸朗（広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学）

## 【岩月記念講演】

3月2日（木） 9：00～10：00 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
岩月記念講演（IML）

座長：西村 匡司（愛染橋病院病院長）

IML-1 研修医から CRISIS に至る道のり

橋本 悟（NPO 法人集中治療コラボレーションネットワーク）

IML-2 集中治療医と COVID-19 と医療と社会

竹田 晋浩（かわぐち心臓呼吸器病院, 日本 ECMOnet）

## 【特別企画】

**3月2日(木) 10:10～11:40 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**特別企画 1 (SPP) ポストコロナのICU～私たちはどこへ行くのか**

座長：志馬 伸朗（広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学）  
西田 修（藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

- SPP01-1 集中治療医療提供体制を強靱化するためには  
土井 研人（東京大学救急・集中治療医学）
- SPP01-2 ポストコロナを見据えた集中治療科専門医の役割と将来像  
垣花 泰之（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野）
- SPP01-3 ポストコロナ時代における臨床工学技士の役割と責任  
相嶋 一登（横浜市立市民病院臨床工学部）
- SPP01-4 我が国のICUを取り巻く環境の近未来予想図  
武居 哲洋（横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター）

**3月3日(金) 8:00～9:30 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**特別企画 2 (SPP) 古都千年, ICU50年～この50年を振り返り次の50年に備える**

座長：黒田 泰弘（香川大学医学部救急災害医学）  
志馬 伸朗（広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学）

- SPP02-1 平澤 博之（千葉大学大学院医学研究科救急集中治療医学）
- SPP02-2 前川 剛志（片倉病院顧問）
- SPP02-3 氏家 良人（函館市病院局, 市立函館病院病院局長）
- SPP02-4 西村 匡司（社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院病院長）
- SPP02-5 西田 修（藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

**3月3日(金) 16:20～17:00 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**3月4日(土) 8:00～8:40 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン【再放送】**  
**特別企画 3 (SPP) COVID-19 3年間の総括**

SPP03 新型コロナウイルス感染症の流行制御の評価とこれから  
西浦 博（京都大学大学院医学研究科）

**3月3日(金) 16:30～17:10 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1**  
**特別企画 4 (SPP)**

座長：志馬 伸朗（広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学）  
土井 研人（東京大学救急・集中医学）

- SPP04 With/post コロナの医療提供体制～ICUを中心に～  
渡辺 幸子（株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン（GHC））

**3月3日(金) 10:20～11:20 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D**  
**特別企画 5 (SPP) 集中治療に貢献するっ！～洛中企業の挑戦**

座長：大鶴 繁（京都大学医学部附属病院初期診療・救急科／救急部）

- SPP05-1 「はかる」技術で集中治療に貢献したい ～HORIBA の発想～  
横川 昭徳<sup>1</sup>、齊藤 憲祐<sup>2</sup>（1. 株式会社堀場製作所医用事業本部 Medical Advanced R&D Department, 2. 株式会社堀場製作所医用事業本部製品企画部）
- SPP05-2 京都の部品メーカーの挑戦：医療の未来に向けた取り組み  
小谷 恵介、北野 智哉、伊佐 孝彦、萩原 盛太郎（株式会社村田製作所医療・ヘルスケア機器統括部）
- SPP05-3 アウトプットのデジタル化と医療現場の自動化・省力化で集中治療に貢献  
國崎 嘉人（イシダメディカル株式会社）

**3月3日(金) 9:20～9:50 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**特別企画 6 (SPP)**

座長：久志本 成樹（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野）

- SPP06 どうなる集中治療科専門研修制度  
垣花 泰之<sup>1,2</sup>、サブスペシャリティ専門研修プログラム 作成委員会メンバー<sup>1</sup>（1. サブスペシャリティ専門研修プログラム作成委員会, 2. 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野）

**3月3日(金) 15:45～16:45 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E**  
**特別企画 7 (SPP)**

座長：森松 博史（岡山大学病院集中治療部）

- SPP07 理事長に聞け  
西田 修（藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

**3月3日(金) 16:50～17:10 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E**  
**特別企画 8 (SPP)**

- SPP08 君の学会抄録は何点？：その傾向と対策  
森松 博史（岡山大学病院集中治療部）

**3月3日(金) 15:50～16:20 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**  
**特別企画 9 (SPP)**

座長：高木 俊介（横浜市立大学附属病院集中治療部）

- SPP09 私は今、旅をしています。～風景イラストレーションの作り方  
小林 達也（イラストレーター【作家名／さげハラス】）

**3月4日(土) 9:10～9:40 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**特別企画 10 (SPP)**

座長：中川 聡（成育医療センター）

- SPP10 私が見つめた「命の砦（とりで）」  
E T V特集「命の砦 ～集中治療室 密着40日の記録」の制作現場から  
下村 幸子（NHK エンタープライズ シニア・プロデューサー）

**3月4日（土） 9：50～11：10 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**特別企画 11（SPP） ドラマ「PICU」特別企画**

座長：竹内 宗之（大阪母子医療センター集中治療科）

SPP11-1 植田 育也（埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター）

SPP11-2 金城 綾香（株式会社フジテレビジョン 編成制作局制作ドラマ・映画制作センター ドラマ・映画制作部）

SPP11-3 黒澤 寛史（兵庫県立こども病院小児集中治療科）

**3月4日（土） 8：00～8：40 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D**  
**特別企画 12（SPP）**

座長：小池 薫（NHO 京都医療センター）

SPP12 集中治療という思想 2023

福家 伸夫（帝京大学ちば総合医療センター、救急集中治療センター）

## 【海外招待講演】

3月3日(金) 12:50～13:50 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール2  
海外招待講演 1 (ILE) Anticoagulant Therapy

座長：射場 敏明（順天堂大学救急災害医学）

ILE01 Anticoagulant Therapy for Sepsis-Induced DIC  
Jerrold H Levy (Anesthesiology, Critical Care, and Surgery (Cardiothoracic), Duke University Medical Center, Durham, NC, USA)

3月3日(金) 14:30～15:30 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2  
海外招待講演 2 (ILE) ICU delirium

座長：天谷 文昌（京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室）

ILE02 ICU Delirium Prevention and Treatment via a Multidisciplinary Approach  
Dale M. Needham (Pulmonary & Critical Care Medicine, and Physical Medicine & Rehabilitation, and Nursing, Johns Hopkins University, USA; Critical Care Physical Medicine & Rehabilitation Program, Johns Hopkins Hospital, USA)

3月4日(土) 8:10～9:10 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール2  
海外招待講演 3 (ILE) ECMO

座長：戸田 雄一郎（川崎医科大学麻酔・集中治療）

ILE03 ECMO for COVID-19: A comprehensive review  
Graeme MacLaren (Director of Cardiothoracic ICU NATIONAL UNIVERSITY HOSPITAL, Singapore)

オンデマンド配信  
海外招待講演 1 (ILE-OD) AACN Healthy Work Environment

ILE-OD1 Creating and Sustaining Healthy Work Environments  
Connie Barden (American Association of Critical-Care Nurses)

オンデマンド配信  
海外招待講演 2 (ILE-OD)

ILE-OD2 Post COVID-19 Infectious Disease Research Network: Ecraid  
Marc Bonten (European Clinical Research Alliance on Infectious Diseases (Ecraid))

オンデマンド配信  
海外招待講演 3 (ILE-OD) Consciousness and prognostication using EEG

ILE-OD3 Recovery of Consciousness after acute brain injury  
Jan Claassen (Columbia University Irving Medical Center / New York Presbyterian Hospital)

オンデマンド配信

海外招待講演 4 (ILE-OD)

ILE-OD4 Respiratory Drive in critically ill patients

Dimitris Georgopoulos (Medical School, University of Crete, Crete, Greece)

オンデマンド配信

海外招待講演 5 (ILE-OD) Acute kidney injury as a cause of respiratory failure

ILE-OD5 Identification of kidney-injury released circulating osteopontin as a causal agent of respiratory failure

Andreas Herrlich, Fatima Zohra Khamissi, Liang Ning, Eirini Kefaloyianni, Hao Dun, Akshayakeerthi Arthanarisami, Amy Keller, Jeffrey J. Atkinson, Wenjun Li, Brian Wong, Sabine Dietmann, Kory Lavine, Daniel Kreisel (Washington University School of Medicine in St. Louis, USA)

オンデマンド配信

海外招待講演 6 (ILE-OD) Latest knowledge for PARDS

ILE-OD6 The Second Pediatric Acute Lung Injury Consensus Conference (PALICC-2) Recommendations

Robinder G Khemani (Pediatrics, Clinical Scholar University of Southern California Keck School of Medicine, Pediatric Intensive Care, Children's Hospital Los Angeles)

オンデマンド配信

海外招待講演 7 (ILE-OD) 備えあれば憂いなし！ DOAC を拮抗せよ！

ILE-OD7 DOAC 拮抗薬エビデンスのアップデート

城戸 和彦 (ウエストバージニア大学薬学部)

オンデマンド配信

海外招待講演 8 (ILE-OD) SSCG2021

ILE-OD8 The Surviving Sepsis Campaign in 2023: What is new and what has not changed

Laura Evans (Division of Pulmonary, Critical Care and Sleep Medicine University of Washington Seattle, USA)

オンデマンド配信

海外招待講演 9 (ILE-OD) Current Research Topic in Critical Care Nursing

ILE-OD9 Current trends in critical care nursing research in the U.S.

Cindy Munro (University of Miami, School of Nursing and Health Studies)

## 【専門医共通講習】

3月2日(木) 11:50～12:50 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
専門医共通講習 1 (MD) Less is more ～この抗菌薬はいりません

座長：森兼 啓太（山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部）

MD01 抗菌薬の適正使用 ～ Less, but better  
青木 洋介（佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野）

3月2日(木) 14:25～15:25 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
専門医共通講習 2 (MD) 立ち止まって考える ～ COVID-19 の倫理学

座長：丸藤 哲（札幌東徳州会病院救急集中治療センター）

MD02 近年の医療倫理～コロナ禍における諸問題  
見玉 聡（京都大学大学院文学研究科）

3月3日(金) 14:00～15:00 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
専門医共通講習 3 (MD) 倫理的にはどうなの？～ICUにおける終末期医療

座長：片山 浩（川崎医科大学総合医療センター麻酔・集中治療科）

MD03 臨床倫理と終末期医療の差控え・中止  
前田 正一（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科医療マネジメント学）

3月4日(土) 8:00～9:00 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
専門医共通講習 4 (MD) ICUでの医療安全は Less is more でしょ

座長：佐和 貞治（京都府立医科大学附属病院医療安全推進部）

MD04 医療安全：マニュアルからの脱却～ safety-II の実践  
伊藤 英樹（広島大学病院医療安全管理部）

## 【教育講演】

3月2日(木) 15:45～16:45 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール  
教育講演 1 (EL)

座長：西村 祐枝（岡山市立市民病院看護部）

EL01 集中治療チームにおけるレジリエンスの発揮—やさしく、つよく、しなやかに—  
中島 和江（大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部）

3月2日(木) 14:25～15:25 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A  
教育講演 2 (EL)

座長：片岡 惇（練馬光が丘病院総合救急診療科集中治療部門）

EL02 Dr. Gattinoni は結局 Mechanical Power で何を伝えたいのか？  
竹内 宗之（大阪母子医療センター集中治療科）

3月2日(木) 9:30～10:10 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1  
教育講演 3 (EL)

座長：中田 諭（聖路加国際大学大学院看護学研究科）

EL03 最高の睡眠体験を提供できるICUを目指して  
春名 純平（札幌医科大学附属病院ICU）

3月2日(木) 10:30～11:10 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1  
教育講演 4 (EL)

座長：八木橋 智子（自治医科大学附属さいたま医療センター看護部）

EL04 これでいいのかICU看護  
卯野木 健（札幌市立大学看護学部成人看護学（急性期））

3月2日(木) 11:50～12:50 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2  
教育講演 5 (EL)

座長：津田 泰伸（聖マリアンナ医科大学病院看護部・救命救急センター）

EL05-1 ここだけは押さえておきたい！看護師に必要な血液ガスデータの見方  
生駒 周作（公立陶生病院）

EL05-2 ここだけは押さえておきたい！看護師に必要な画像の見方  
小林 雅矢（自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部）

3月2日(木) 9:00～10:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
教育講演 6 (EL)

座長：辻尾 有利子（京都府立医科大学附属病院看護部PICU）

EL06 「うちの子がせん妄だって？」知らぬでは許されないこども版PADガイドライン  
小泉 沢（宮城県立こども病院集中治療科）



**3月2日 (木) 9:00～10:00 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**教育講演 7 (EL) 頑張りすぎてる君に♡MCSで行うアンローディング**

座長：三木 隆弘（日本大学病院臨床工学会）

EL07 MCS アンローディングを生かした循環器集中治療～安定的機械駆動と循環生理学～  
朔 啓太（国立循環器病研究センター研究所循環動態制御部）

**3月2日 (木) 10:20～11:20 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**教育講演 8 (EL)**

座長：白壁 章宏（日本医科大学千葉北総病院集中治療室）

EL08 おいでやす白熱集中治療教室～心機能評価～  
川上 大裕（飯塚病院集中治療科）

**3月2日 (木) 11:40～12:40 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**教育講演 9 (EL)**

座長：升田 好樹（札幌医科大学集中治療医学）

EL09 ガイドラインのガイドライン！これは知っとけ，GRADEのイロハ  
山川 一馬（大阪医科薬科大学救急医学）

**3月2日 (木) 16:05～17:05 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**教育講演 10 (EL)**

座長：土井 研人（東京大学救急・集中治療医学）

EL10 リアルワールドデータを用いた集中治療の臨床研究  
康永 秀生（東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学）

**3月2日 (木) 16:05～17:05 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**教育講演 11 (EL)**

座長：野崎 歩（社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院薬剤科）

EL11 まぜるな危険！ICU系薬剤  
前田 幹広（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部）

**3月3日 (金) 12:50～13:50 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**教育講演 12 (EL)**

座長：鶴田 良介（山口大学医学部附属病院先進救急医療センター）

EL12 急性期医療における緩和治療～ICUで死を迎えるということ～  
則末 泰博（東京ベイ・浦安市川医療センター）

**3月3日 (金) 15:10～16:10 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**教育講演 13 (EL)**

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学）

EL13 人工呼吸管理の基本と最新知見～おいでやす白熱集中治療教室～  
瀬尾 龍太郎（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

**3月3日 (金) 9:10～10:10 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2**  
**教育講演 14 (EL)**

座長：玉木 彰（兵庫医科大学リハビリテーション学部）

EL14 ナイスバルク！ICUで始める神経筋電気刺激療法  
中村 謙介（帝京大学医学部救急医学講座）

**3月3日 (金) 10:20～11:20 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2**  
**教育講演 15 (EL)**

座長：野口 綾子（東京医科歯科大学保健衛生学研究科災害・クリティカルケア看護学分野）

EL15 集中治療での医療者と患者・家族の思いを紡ぐ医療メディエーション  
中西 淑美（国立大学法人山形大学医学部総合医学教育センター）

**3月3日 (金) 10:20～11:20 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**教育講演 16 (EL)**

座長：一原 直昭（東京大学大学院医学研究科医療品質評価学講座）

EL16 本読んでもピンとこないから教えてください！臨床疫学研究のデザイン  
山本 洋介（京都大学大学院医学研究科医療疫学分野）

**3月3日 (金) 14:20～15:20 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**教育講演 17 (EL)**

座長：西山 慶（新潟大学救急科集中治療部）

EL17 救命の先に何を見る？神経集中治療の志一機能転帰を見据えた治療のストラテジー  
横堀 将司<sup>1,2,3</sup>（1. 日本医科大学救急医学教室, 2. 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野,  
3. 日本医科大学付属病院救命救急科）

**3月3日 (金) 14:40～15:40 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E**  
**教育講演 18 (EL)**

座長：櫛方 哲也（弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座）

EL18 良い睡眠は良いお腹環境から  
小川 雪乃（農研機構食品研究部門）

**3月3日 (金) 14:40～15:40 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**  
**教育講演 19 (EL)**

座長：高田 順子（東京ベイ・浦安市川医療センターリハビリテーション室）

EL19 ラーメン食べたい！その思いを叶える摂食嚥下リハビリテーション  
笠井 史人（昭和大学医学部リハビリテーション医学講座）

**3月4日 (土) 8:20～9:20 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A**  
**教育講演 20 (EL)**

座長：溝渕 知司（神戸大学大学院医学研究科麻酔科学）

EL20 おいでやす 白熱集中治療教室～血液浄化療法～  
小尾口 邦彦（京都府立医科大学麻酔科学教室集中治療部）

**3月4日 (土) 10:10～11:10 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1**  
**教育講演 21 (EL) おいでやす白熱集中治療教室～ECMO～**

座長：石倉 宏恭（福岡大学医学部救命救急医学講座）

EL21 High Quality Respiratory ECMO Management：-我々は、何故、センター化を目指すのか？-  
小倉 崇以、萩原 祥弘、藤田 健亮（済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター救急・集中治療科）

**3月4日 (土) 12:40～13:40 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1**  
**教育講演 22 (EL) 人工呼吸器管理に必携！肺保護 bedside to bench**

座長：吉田 英樹（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター）

EL22 ARDS に対する肺保護換気戦略  
吉田 健史（大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室）

**3月4日 (土) 8:50～9:50 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D**  
**教育講演 23 (EL)**

座長：小竹 良文（東邦大学医療センター大橋病院麻酔科）

EL23 血管内皮の最前線！グリコカリックスは何をしている？  
岡田 英志（岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野）

**3月4日 (土) 10:10～11:10 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D**  
**教育講演 24 (EL)**

座長：今井 寛（三重大学救命救急センター）

EL24 敗血症の基礎研究 -基礎から考える診療-  
松田 直之（名古屋大学医学系研究科救急・集中治療医学分野）

3月4日(土) 10:10～11:10 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン  
教育講演 25 (EL)

座長：陶山 真一（旭川赤十字病院医療技術部臨床工学）

EL25 人工呼吸器離脱は臨床工学技士にお任せあれ！  
相嶋 一登（横浜市立市民病院臨床工学部）

3月4日(土) 12:40～13:40 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
教育講演 26 (EL)

座長：黒田 泰弘（香川大学医学部救急災害医学）

EL26 神経集中治療のビッグウェーブ！Critical Care EEG を乗りこなせ  
池田 昭夫（京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座）

3月4日(土) 12:40～13:40 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2  
教育講演 27 (EL)

座長：小倉 真治（岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野）

EL27 機械学習が描く ICU 2.0  
後藤 匡啓（TXP Medical 株式会社）

## 【三二教育講演】

3月3日(金) 12:50～13:50 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
三二教育講演 1 (MEL)

座長：宮本 恭兵（和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座）

MEL01-1 ゼロから始める多施設共同トランスレーショナルリサーチ :AESCULAPIUS study の展望  
春日井 大介（名古屋大学医学部附属病院救急科）

MEL01-2 食わず嫌いじゃ済ませられない AI 研究，ちょっと覗いてみませんか？  
大沢 樹輝<sup>1,2</sup>（1. 虎の門病院救急科，2. 東京大学医学部附属病院救急集中治療部）

3月3日(金) 14:30～16:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
三二教育講演 2 (MEL)

座長：小網 博之（佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター）

MEL02-1 「レジストリー解析論文」ってどうやったら始められるの？  
岡田 遥平<sup>1,2</sup>（1. 国立シンガポール大学 Duke-NUS medical school，2. 京都大学予防医療学分野）

MEL02-2 RCT をやってみた！ 苦しかった！ 楽しかった！—これから RCT を始める研究者へ—  
安田 英人（自治医科大学附属さいたま医療センター救急科）

MEL02-3 みんな協力してくれるかな？ 多施設共同前向き観察研究  
畠山 淳司（大阪医科薬科大学救急医学教室）

3月3日(金) 16:10～17:10 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
ミニ教育講演 3 (MEL)

座長：工藤 大介（東北大学大学院医学系研究科救急医学分野）

MEL03-1 超実践マニュアル JINC 査読問答

鈴木 武志（東海大学医学部医学科外科系麻酔科）

MEL03-2 決して宝くじじゃない！「偶然」を「必然」に変えるための研究費獲得のポイント

井上 茂亮（神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野）

## 【若手教育講演】

3月2日(木) 9:00～10:00 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
若手教育講演 1 (YEL) きいてみんさい若帖の話～その他①

座長：七戸 康夫（国立病院機構救急科）

YEL01-1 Critical Care 領域における Advance Care Planning(ACP) について

上村 夏生（新潟大学医歯学総合病院）

YEL01-2 マインドフル・フィードバック

森本 健司（モナシュ小児病院小児集中治療科）

3月2日(木) 10:10～11:10 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
若手教育講演 2 (YEL) きいてみんさい若帖の話～呼吸

座長：小谷 透（昭和大学病院集中治療科）

YEL02-1 横隔膜保護換気

木庭 茂（練馬光が丘病院集中治療部門）

YEL02-2 急性呼吸窮迫症候群における肺リクルータビリティの基礎知識

中山 龍一<sup>1,2</sup> (1. 札幌医科大学医学部救急医学講座, 2. 北海道立羽幌病院)

3月2日(木) 11:20～12:50 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
若手教育講演 3 (YEL) きいてみんさい若帖の話～循環

座長：笠岡 俊志（熊本大学病院災害医療教育研究センター）

YEL03-1 集中治療医に必要な循環管理 "心エコーで循環管理を極める"

三角 香世, 鯉沼 俊貴, 木村 拓哉, 萩原 祥弘, 小倉 崇以（済生会宇都宮病院救急・集中治療科）

YEL03-2 循環器内科医が考える集中治療室での循環管理に必要な生理学

齋藤 俊祐<sup>1,2</sup>, 方山 真朱<sup>2</sup> (1. 自治医科大学内科学講座循環器内科学部門, 2. 自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

YEL03-3 心不全や AKI に ANP(心房性 Na 利尿ペプチド) はどう使う？

山田 博之<sup>1,2</sup> (1. 京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野, 2. 京都大学大学院医学研究科腎臓内科学)

**3月2日(木) 14:20～15:50 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1**  
**若手教育講演 4 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～研究**

座長：祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

- YEL04-1 NY 留学が自身の研究マインドに与えた影響：重症 ARDS 大規模レジストリ J-CARVE registry 構築への取り組み**  
錦見 満暁<sup>1,2,3</sup>、大下 慎一郎<sup>1</sup>、松田 直之<sup>3</sup>、ベッカー ランス<sup>2</sup>、志馬 伸明<sup>1</sup>（1. 広島大学、2. ファインスタイン医学研究所、3. 名古屋大学医学部附属病院）
- YEL04-2 大学院進学のおすゝめ**  
岡田 遙平<sup>1,2</sup>（1. 国立シンガポール大学、Health Services and Systems Research、2. 京都大学大学院予防医療学分野）
- YEL04-3 集中治療領域における医師主導型多施設共同ランダム化比較試験の挑戦**  
吉村 旬平<sup>1,2</sup>（1. 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター、2. 大阪急性期・総合医療センター救急診療科）

**3月2日(木) 16:05～17:05 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**若手教育講演 5 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～血液凝固**

座長：阪本 雄一郎（佐賀大学救急医学講座）

- YEL05-1 血栓性微小血管症の早期認識と急性期治療の試み**  
佐藤 佳澄、奥山 学、入江 康仁、北村 俊晴、平澤 暢史、亀山 孔明、鈴木 悠也、吉田 健二、中永 士師明（秋田大学医学部附属病院高度救命救急センター）
- YEL05-2 集中治療領域における血液凝固障害 - 病態を理解し、闘うために -**  
十時 崇彰（九州大学病院）

**3月3日(金) 12:50～14:20 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**若手教育講演 6 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～その他②**

座長：杉田 学（順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科）

- YEL06-1 神経集中治療医はいつ脳波モニタリングを必要とする？**  
岡崎 哲ロバート<sup>1</sup>、江川 悟史<sup>1,2,3,4,5</sup>（1. TMG あさか医療センター神経集中治療部、2. コロンビア大学 Irving 医療センター神経集中治療科、3. TMG あさか医療センター集中治療部、4. TMG あさか医療センター脳神経外科、5. TMG あさか医療センター脳卒中てんかんセンター）
- YEL06-2 毒性アルコール中毒の診断と治療**  
大山 亜紗美、伊関 憲（福島県立医科大学医学部救急医療学講座）

**3月3日(金) 16:10～17:10 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**若手教育講演 7 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～小児**

座長：松井 彦郎（東京大学医学部小児科）

- YEL07-1 心臓術後小児における、呼吸器離脱を科学する**  
三浦 慎也<sup>1,2</sup>、竹内 宗之<sup>3</sup>（1. 聖マリアンナ医科大学小児科学講座、2. 帝京大学大学院公衆衛生学研究科、3. 大阪母子医療センター）
- YEL07-2 循環生理を踏まえたチアノーゼ性先天性心疾患の集中治療**  
加藤 匡人（聖マリアンナ医科大学小児科）

**3月3日(金) 8:00～9:30 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**若手教育講演 8 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～超音波ガイド**

座長：野村 岳志（医療法人徳洲会周術期医療地域支援室）

- YEL08-1 意外と知られていない！？エコーガイド下血管穿刺の極意を教えます！  
野浪 豪（京都桂病院）
- YEL08-2 PICC 留置成功の鍵はエコーガイド下穿刺にある～どこまでこだわって穿刺していますか～  
塩沢 剣<sup>1</sup>，塩沢 亜依美<sup>1</sup>，稲田 周平<sup>1</sup>，谷田 真一<sup>1</sup>，岩田 充永<sup>2</sup>（1. 藤田医科大学病院中央診療部 FNP 室，2. 藤田医科大学医学部救急総合内科学講座）
- YEL08-3 明日から使える！初学者のためのエコーガイド下血管確保手技の理論と実践  
中山 賢人（佐賀大学医学部付属病院）

**3月3日(金) 16:10～16:40 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**若手教育講演 9 (YEL) 今だから考える～ICUでの緩和ケア**

座長：上野 博司（京都府立医科大学麻酔科学教室）

- YEL09 意見が対立する時に役立つ緩和ケア・コミュニケーション今だから考える ICUでの緩和ケア  
石上 雄一郎（飯塚病院連携医療・緩和ケア科）

**3月3日(金) 8:00～9:30 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**  
**若手教育講演 10 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～感染**

座長：林 淑朗（亀田総合病院集中治療科）

- YEL10-1 敗血症と抗菌薬 stewardship  
狩野 謙一（福井県立病院救命救急センター）
- YEL10-2 集中治療室での抗菌薬選択 抗菌薬適正使用の観点から  
佐藤 ルブナ（国立国際医療研究センター病院国際感染症センター）
- YEL10-3 敗血症診療における迅速微生物診断検査の活用  
橋本 英樹（東京大学医学部附属病院感染症内科）

**3月3日(金) 9:50～11:20 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**  
**若手教育講演 11 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～肝・腎**

座長：西澤 英雄（横浜労災病院中央集中治療部）

- YEL11-1 The 乳酸  
田邊 翔太（松江赤十字病院救命救急センター）
- YEL11-2 CRRT だけじゃない！！ 集中治療領域で用いられる様々な透析手法と multimodal approach  
山口 晃典<sup>1,2</sup>，園田 光佑<sup>1</sup>，中村 博之<sup>1</sup>，山本 高照<sup>1</sup>，市山 崇史<sup>1</sup>，清水 彩里<sup>1</sup>，三田 篤義<sup>1</sup>，上條 祐司<sup>2</sup>，今村 浩<sup>1</sup>（1. 信州大学医学部附属病院集中治療部，2. 信州大学医学部附属病院腎臓内科）
- YEL11-3 内科医の立場から見た，集中治療医が知っておきたい急性肝不全の診断と治療  
田中 卓（名古屋大学医学部附属病院）

**3月3日(金) 12:50～14:20 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**  
**若手教育講演 12 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～リハビリ・PICS**

座長：布宮 伸（自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）

- YEL12-1 研究の最前線：Evidence-based ICU Care と Post Intensive Care Syndrome**  
劉 啓文（プリンスチャールズ病院，集中治療リサーチグループ）
- YEL12-2 集中治療領域での嚥下障害**  
本郷 貴識，小原 隆史，野島 剛，上田 浩平，青景 聡之，塚原 紘平，湯本 哲也，内藤 宏道，中尾 篤典（岡山大学病院救命救急科）
- YEL12-3 メディカルスタッフによる ICU における骨格筋量測定の方法と意義**  
田中 孝平<sup>1</sup>，山田 知輝<sup>2</sup>（1. 大阪警察病院リハビリテーション技術科，2. 大阪警察病院 ER・救命救急科）

**3月4日(土) 8:00～9:30 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1**  
**若手教育講演 13 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～鎮痛鎮静**

座長：井上 聡己（福島県立医科大学麻酔科学講座）

- YEL13-1 処置時の鎮静鎮痛 (Procedural Sedation and Analgesia) の事故をなくすため集中治療医が知っておくべきこと**  
深野 賢太郎<sup>1</sup>，本間 洋輔<sup>2</sup>，竹内 慎哉<sup>4</sup>，星野 あつみ<sup>5</sup>，船越 拓<sup>6</sup>，乗井 達守<sup>3</sup>（1. 自治医科大学附属さいたま医療センター，2. 千葉市立海浜病院，3. ニューメキシコ大学，4. 高知大学医学部，5. 東京女子医科大学病院，6. 東京ベイ浦安市川医療センター）
- YEL13-2 レミゾラムにおける周術期管理の現状と今後の展望**  
佐藤 威仁（名古屋大学医学部附属病院麻酔科外科系集中治療部）
- YEL13-3 PANDEM ガイドラインから読み解く小児患者のマネジメント**  
星野 晴彦（国際医療福祉大学成田看護学部看護学科）

**3月4日(土) 9:40～11:10 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1**  
**若手教育講演 14 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～ECMO**

座長：市場 晋吾（東京女子医科大学集中治療科）

- YEL14-1 臨床に役立つ『呼吸 ECMO の生理学』**  
萩原 祥弘，藤田 健亮，小倉 崇以（済生会宇都宮病院救急集中治療科 ECMO センター）
- YEL14-2 ECMO transport ~Transport “運ぶ” だけではなく、もっと重要な KEY elements~**  
藤田 健亮，萩原 祥弘，小倉 崇以（済生会宇都宮病院救急・集中治療科栃木県救命救急センター）
- YEL14-3 ECPR の A to Z ~若手医師のための ECPR tips ~**  
堀越 佑一，清水 敬樹（東京都立多摩総合医療センター救命救急センター ECMO センター）

**3月4日(土) 12:40～14:10 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1**  
**若手教育講演 15 (YEL) きいてみんさい若鮎の話～外傷**

座長：北村 伸哉（君津中央病院救命救急センター）

- YEL15-1 頭部外傷における凝固障害の集中治療アップデート**  
藤原 岳（済生会滋賀県病院脳神経外科）
- YEL15-2 良好な四肢機能再建を獲得するには～集中治療と整形外傷の架け橋～**  
反町 光太郎，畑下 智（会津中央病院外傷再建センター）
- YEL15-3 救急領域におけるトラネキサム酸，最新のエビデンスと実際**  
加納 誠也（藤枝市立総合病院救命救急センター）



## 【小児集中治療セミナー】

3月2日(木) 14:35～15:05 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
小児集中治療セミナー 1 (PICCS) 小児集中治療の若頭が教える：外傷

座長：植田 育也（埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター）

PICCS01 小児集中治療の若頭が教える：外傷小児外傷をスキになるエッセンス  
石原 唯史（順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科 / こども救急センター）

3月2日(木) 15:15～15:45 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
小児集中治療セミナー 2 (PICCS) 小児集中治療の若頭が教える：虐待と事故予防

座長：植田 育也（埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター）

PICCS02 こどもたちを救うためにできること、すべきこと  
福島 亮介（藤沢市民病院救命救急センター小児救急科）

3月2日(木) 15:55～16:25 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
小児集中治療セミナー 3 (PICCS) 小児集中治療の若頭が教える：輸液

座長：鈴木 康之（国立成育医療研究センター手術・集中治療部）

PICCS03 小児集中治療の若頭が教える：輸液  
加藤 宏樹（国立成育医療研究センター手術集中治療部集中治療科）

3月2日(木) 16:35～17:05 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
小児集中治療セミナー 4 (PICCS) 小児集中治療の若頭が教える：ECMO

座長：鈴木 康之（国立成育医療研究センター手術・集中治療部）

PICCS04 ECMOに伴う感染症，感染症に対するECMO；国内外の集中治療の知見から  
三浦 慎也<sup>1,2</sup>，市場 晋吾<sup>3,4</sup>（1. 聖マリアンナ医科大学小児科，2. 帝京大学公衆衛生学研究所，3. 東京女子医科大学臨床工学科，4. 東京女子医科大学集中治療科）

3月3日(金) 15:40～16:10 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2  
小児集中治療セミナー 5 (PICCS)

座長：松井 彦郎（東京大学医学部小児科）

PICCS05 Current topics for pediatric ECMO  
Graeme MacLaren (Cardiothoracic ICU, National University Hospital, Singapore)

## 【シンポジウム】

3月2日(木) 9:20～10:50 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A  
シンポジウム 1 (SY) みんなが知らないARDS診療ガイドライン2021

座長：讃井 将満 (自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部)  
田坂 定智 (弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

- SY01-1 成人ガイドラインの要点  
大下 慎一郎 (広島大学大学院救急集中治療医学)
- SY01-2 小児ガイドラインの要点  
竹内 宗之 (大阪母子医療センター集中治療科)
- SY01-3 ガイドライン作成の裏側・次版作成への課題  
安田 英人<sup>1,2</sup>, 讃井 将満<sup>2</sup>, 田坂 定智<sup>2</sup>, 竹内 宗之<sup>2</sup>, 大下 慎一郎<sup>2</sup>, 橋本 悟<sup>2</sup>, 江木 盛時<sup>2</sup>, 一門 和哉<sup>2</sup>, 津島 健司<sup>2</sup>, 南郷 栄秀<sup>2</sup> (1. 自治医科大学附属さいたま医療センター救急科, 2. ARDS診療ガイドライン2021作成委員会)

3月2日(木) 11:10～12:40 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A  
シンポジウム 2 (SY) 肺保護管理～生理学を生かした個別化医療に向けて

座長：内山 昭則 (大阪大学医学部附属病院集中治療部)  
大塚 将秀 (横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部)

- SY02-1 Stress と Strain  
方山 真朱 (自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)
- SY02-2 動的指標 (メカニカルパワー) の評価  
川村 篤, 竹内 宗之 (大阪母子医療センター)
- SY02-3 ベッドサイドで可能な換気均一化の評価と呼吸器設定  
庄野 敦子 (島根大学医学部麻酔科)
- SY02-4 Lung recruitability の評価  
吉田 健史 (大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室)
- SY02-5 当院のARDSプロトコール  
鈴木 銀河 (東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)

3月2日(木) 15:35～17:05 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A  
シンポジウム 3 (SY) 今更ですが、最適な PEEP とは？

座長：岩下 義明 (島根大学医学部附属病院救命救急センター)  
大下 慎一郎 (広島大学大学院救急集中治療医学)

- SY03-1 肺リクルータビリティとはなにか  
小山 有紀子 (大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学教室麻酔・集中治療医学)
- SY03-2 グラフィックモニタリングを用いた PEEP 設定  
京極 都 (大阪母子医療センター)
- SY03-3 経肺圧を用いた PEEP 設定  
島谷 竜俊 (広島大学大学院救急集中治療医学)
- SY03-4 EIT を用いた PEEP 設定  
片岡 惇 (練馬光が丘病院総合救急診療科集中治療部門)

**3月2日(木) 15:55～17:25 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール2**  
**シンポジウム 4 (SY) 分かち合う責任, 助け合う安全**

座長：伊藤 有美 (杏林大学保健学部看護学科)  
 藤村 直幸 (雪の聖母会聖マリア病院麻酔科)

- SY04-1 集中治療室におけるタスク・シフト / シェアに関する安全管理指針  
 —チーム医療の観点から—  
 中村 京太<sup>1,2</sup> (1. 横浜市立大学附属市民総合医療センター医療の質・安全管理部, 2. 大阪大学医学部  
 附属病院中央クオリティマネジメント部)
- SY04-2 特定行為研修修了看護師の働き方と安全管理  
 徳田 賢太郎 (九州大学病院別府病院麻酔科)
- SY04-3 集中治療におけるタスク・シフト / シェアについて - 東京医科大学病院の取り組み  
 関根 秀介<sup>1</sup>, 山田 知輝<sup>2</sup>, 重松 研二<sup>3</sup>, 伊藤 有美<sup>4</sup>, 前田 幹広<sup>5</sup>, 石井 宣大<sup>6</sup>, 三木 隆弘<sup>7</sup>,  
 冷水 育<sup>8</sup>, 上岡 見一<sup>8</sup>, 直井 俊祐<sup>8</sup> (1. 東京医科大学麻酔科学分野, 2. 大阪警察病院救命救急科,  
 3. 福岡大学医学部麻酔科学教室, 4. 杏林大学保健学部看護学科, 5. 聖マリアンナ医科大学病院薬剂  
 部, 6. 東京慈恵会医科大学附属柏病院臨床工学部, 7. 日本大学病院臨床工学室, 8. 東京医科大学病  
 院)
- SY04-4 看護師に使用される包括的指示の理解とその運用  
 村上 礼子 (自治医科大学看護学部)
- SY04-5 臨床工学技士の立場から見た業務範囲の拡大と医療安全  
 石井 宣大 (東京慈恵会医科大学附属柏病院臨床工学部)

**3月2日(木) 10:10～11:10 第5会場 国立京都国際会館 1F RoomD**  
**シンポジウム 5 (SY) どうしてる?小児の用手換気と気管吸引**

座長：藤田 絵津子 (広島大学病院 ECU)

- SY05-1 宮本 将 (広島市民病院麻酔・集中治療科)
- SY05-2 谷 昌憲 (埼玉県立小児医療センター集中治療科)
- SY05-3 三浦 規雅 (東京都立小児総合医療センター PICU)

**3月2日(木) 11:20～12:50 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D**  
**シンポジウム 6 (SY) つなぐいのち～小児脳死下臓器ドナー管理**

座長：清水 直樹 (聖マリアンナ医科大学小児科学講座)  
 種市 尋宙 (富山大学小児科)

- SY06-1 小児の臓器提供を支える看護  
 清田 麻美, 池山 貴也, 岩月 悦子, 中村 和明, 小川 真理子 (あいち小児保健医療総合センター)
- SY06-2 当院における小児脳死下臓器提供の実績と小児患者ならではの課題  
 奥山 惟奈<sup>1</sup>, 長谷川 麻未<sup>1</sup>, 杉澤 由香里<sup>1</sup>, 壺井 伯彦<sup>2</sup>, 松本 正太郎<sup>2</sup> (1. 国立成育医療研究センター  
 看護部, 2. 国立成育医療研究センター集中治療科)
- SY06-3 小児脳死下臓器ドナー管理の特徴 ～当センターでの経験から～  
 小原 隆史, 内藤 宏道, 塚原 紘平, 野島 剛, 上田 浩平, 本郷 貴識, 小崎 吉訓, 山本 浩継,  
 青景 聡之, 湯本 哲也, 中尾 篤典 (岡山大学病院高度救命救急センター)
- SY06-4 小児脳死臓器提供・移植の現状と課題 ～つながるいのちと家族の思い～  
 大宮 かおり, 芦刈 淳太郎, 竹村 裕介, 北村 聖 (公益社団法人日本臓器移植ネットワーク)

**3月2日 (木) 14:25 ~ 15:55 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン  
シンポジウム 7 (SY) 敗血症が起きている！ミクロの最前線**

座長：松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）  
渡邊 栄三（愛知医科大学病院救命救急科・高度救命救急センター）

- SY07-1 敗血症における免疫麻痺の病態とその制御  
渡邊 栄三（愛知医科大学病院救命救急科）
- SY07-2 骨格筋自然免疫応答に着目した敗血症性差発現因子の探索  
坂本 多穂, 黒川 洵子（静岡県立大学薬学部生体情報分子解析学分野）
- SY07-3 敗血症病態での血管内皮由来過極 (EDH) の減弱と回復のメカニズム  
服部 友紀<sup>1</sup>, 高野 博充<sup>2</sup>, 杉山 ももこ<sup>1</sup>, 高橋 紀帆<sup>1</sup>, 坪内 希親<sup>1</sup>, 宮崎 ゆか<sup>1</sup>, 松居 亮平<sup>1</sup>,  
今井一徳<sup>1</sup>, 山岸 庸太<sup>1</sup>, 笹野 寛<sup>1</sup> (1. 名古屋市立大学病院救急科, 2. 名古屋市立大学大学院医学研究科細胞生理学)
- SY07-4 血管内皮障害に対する血小板 Lysate 液の保護修復効果の検討  
平湯 恒久, 高須 修（久留米大学医学部救急医学講座）
- SY07-5 血管内皮障害に着目した新規敗血症治療戦略  
鈴木 浩大（岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野）

**3月2日 (木) 11:10 ~ 12:40 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
シンポジウム 8 (SY) J-SSCG2024 はこんな感じ**

座長：小倉 裕司（大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター）  
中田 孝明（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

- SY08-1 コンセプトと新しい取り組み  
中田 孝明, 志馬 伸朗, 矢田部 智昭, 山川 一馬, 青木 善孝, 井上 茂亮, 射場 敏明, 小倉 裕司,  
河合 佑亮, 川口 敦, 川崎 達也, 近藤 豊, 櫻谷 正明, 對東 俊介, 土井 研人, 橋本 英樹,  
原 嘉孝, 福田 龍将, 松嶋 麻子, 江木 盛時, 久志本 成樹（日本版敗血症診療ガイドライン 2024 特別委員会）
- SY08-2 J-SSCG2020 出版 1 年後のアンケート調査を受けた J-SSCG2024 の作成方針  
青木 善孝, 志馬 伸朗, 中田 孝明, 矢田部 智昭, 山川 一馬, 井上 茂亮, 射場 敏明, 小倉 裕司,  
河合 佑亮, 川口 敦, 川崎 達也, 近藤 豊, 櫻谷 正明, 對東 俊介, 土井 研人, 橋本 英樹,  
原 嘉孝, 福田 龍将, 松嶋 麻子, 江木 盛時, 久志本 成樹（日本版敗血症診療ガイドライン 2024 特別委員会）
- SY08-3 J-SSCG2024 の全体像  
矢田部 智昭, 志馬 伸朗, 中田 孝明, 山川 一馬, 青木 善孝, 井上 茂亮, 射場 敏明, 小倉 裕司,  
河合 佑亮, 川口 敦, 川崎 達也, 近藤 豊, 櫻谷 正明, 對東 俊介, 土井 研人, 橋本 英樹,  
原 嘉孝, 福田 龍将, 松嶋 麻子, 江木 盛時, 久志本 成樹（日本版敗血症診療ガイドライン 2024 特別委員会）
- SY08-4 日本版敗血症診療ガイドライン 2024 で取りあげる重要臨床課題はこんな感じ  
原 嘉孝, 志馬 伸朗, 中田 孝明, 矢田部 智昭, 山川 一馬, 青木 善孝, 井上 茂亮, 射場 敏明,  
小倉 裕司, 河合 佑亮, 川口 敦, 川崎 達也, 近藤 豊, 櫻谷 正明, 對東 俊介, 土井 研人,  
橋本 英樹, 福田 龍将, 松嶋 麻子, 江木 盛時, 久志本 成樹（日本版敗血症診療ガイドライン 2024 特別委員会）
- SY08-5 日本版敗血症診療ガイドライン 2024 における医師以外のメディカルスタッフの役割  
對東 俊介, 志馬 伸朗, 中田 孝明, 矢田部 智昭, 山川 一馬, 青木 善孝, 井上 茂亮, 射場 敏明,  
小倉 裕司, 河合 佑亮, 川口 敦, 川崎 達也, 近藤 豊, 櫻谷 正明, 土井 研人, 橋本 英樹,  
原 嘉孝, 福田 龍将, 松嶋 麻子, 江木 盛時, 久志本 成樹（日本版敗血症診療ガイドライン 2024 特別委員会）

3月2日(木) 15:45～17:15 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
シンポジウム 9 (SY) 重症患者リハビリテーション診療ガイドラインできました！

座長：近藤 豊（順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科）  
高橋 哲也（順天堂大学保健医療学部）

- SY09-1 日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン 2023 の概要  
卯野木 健, 林田 敬, 安藤 守秀, 飯田 有輝, 川崎 達也, 笠井 史人, 河合 佑亮, 神津 玲, 近藤 豊, 齊藤 正和, 櫻本 秀明, 佐々木 信幸, 佐浦 隆一, 對東 俊介, 中村 謙介, 高橋 哲也, 西田 修（日本集中治療医学会集中治療早期リハビリテーション委員会）
- SY09-2 日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン 2023 の作成方法  
對東 俊介<sup>1,2</sup>, 林田 敬<sup>1,3</sup>, 近藤 豊<sup>1,4</sup>, 河合 佑亮<sup>1,5</sup>, 大内 玲<sup>1</sup>, 岡村 正嗣<sup>1</sup>, 栗原 知己<sup>1</sup>, 栗山 明<sup>1</sup>, 松石 雄二郎<sup>1</sup>, 矢塚 泰介<sup>1</sup>, 山本 憲督<sup>1</sup>, 吉廣 尚大<sup>1</sup>, 卯野木 健<sup>6</sup> (1. J-ReCIP2023 アカデミックガイドライン推進班, 2. 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門, 3. South Shore University Hospital, Northwell Health, 4. 順天堂大学大学院医学研究科, 5. 藤田医科大学病院看護部, 6. 札幌市立大学看護学部)
- SY09-3 重症患者リハビリテーション診療ガイドライン 2023: クリニカル・クエスション「早期離床と運動療法」  
神津 玲, 佐浦 隆一, 安藤 守秀, 佐々木 信幸（日本集中治療医学会集中治療早期リハビリテーション委員会）
- SY09-4 重症患者に対して神経筋電気刺激または/および床上エルゴメータを行うか？  
河合 佑亮<sup>1</sup>, 野々山 忠芳<sup>2</sup>, 大倉 和貴<sup>3</sup>, 北山 未央<sup>4</sup>, 成田 知大<sup>5</sup>, 宮城島 沙織<sup>6</sup>, 近藤 豊<sup>7</sup>, 吉廣 尚大<sup>8</sup>, 卯野木 健<sup>9</sup>, 高橋 哲也<sup>10</sup>, 西田 修<sup>11</sup> (1. 藤田医科大学病院看護部, 2. 福井大学医学部附属病院リハビリテーション部, 3. 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部, 4. 金沢医科大学病院看護部, 5. 静岡県立総合病院救命救急科, 6. 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部, 7. 順天堂大学大学院医学研究科, 8. 広島大学病院薬剤部, 9. 札幌市立大学看護学部, 10. 順天堂大学保健医療学部理学療法学科, 11. 藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- SY09-5 重症小児に対するリハビリテーション  
川崎 達也, 卯野木 健, 林田 敬, 安藤 守秀, 飯田 有輝, 笠井 史人, 河合 佑亮, 神津 玲, 近藤 豊, 齊藤 正和, 櫻本 秀明, 佐々木 信幸, 佐浦 隆一, 對東 俊介, 中村 謙介, 高橋 哲也, 西田 修（日本集中治療医学会集中治療早期リハビリテーション委員会）

3月2日(木) 15:35～17:05 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2  
シンポジウム 10 (SY) T (ちゃんと) D (decision できて) M (ますか?) with Pharmacist

座長：川村 英樹（鹿児島大学病院感染制御部）  
高橋 佳子（兵庫医科大学病院薬剤部）

- SY10-1 重症病態におけるバンコマイシンの TDM  
中馬 真幸, 山田 峻史, 田崎 嘉一（旭川医科大学病院薬剤部）
- SY10-2 重症患者におけるβラクタム系抗菌薬の TDM  
尾田 一貴（熊本大学病院薬剤部）
- SY10-3 重症患者におけるアミノグリコシド系抗菌薬の TDM  
中蘭 健一（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）
- SY10-4 重症患者におけるポリコナゾールの TDM  
花井 雄貴, 植草 秀介, 松尾 和廣（東邦大学薬学部臨床薬学研究室）

**3月3日(金) 9:30～11:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A**  
**シンポジウム 11 (SY) 結局, NPPV と HFNC ってどっちがいいの？**

座長：安部 隆三 (大分大学救急医学)  
 緒方 嘉隆 (八尾徳洲会総合病院救急集中治療科)

- SY11-1 低酸素性呼吸不全患者に対する非侵襲的陽圧換気**  
 竹内 功<sup>1</sup>, 佐藤 博重<sup>1</sup>, 安本 有佑<sup>2</sup>, 加藤 良太郎<sup>2</sup> (1. 板橋中央総合病院救急集中治療科, 2. 板橋中央総合病院総合診療内科)
- SY11-2 非侵襲的呼吸補助の適応とその限界：ネットワークメタアナリシスによる考察**  
 岡野 弘<sup>1,2</sup>, 櫻谷 正明<sup>3</sup>, 安田 英人<sup>4</sup> (1. 国立病院機構横浜医療センター救急総合診療科, 2. 国際医療福祉大学大学院医学研究科公衆衛生学専攻, 3. JA 広島総合病院救急・集中治療科, 4. 自治医科大学附属さいたま医療センター救急科)
- SY11-3 急性呼吸不全に対する NPPV と HFNC：本邦発のランダム化比較試験 (JaNP-Hi 試験) の意義**  
 永田 一真 (神戸市立医療センター中央市民病院)
- SY11-4 Non-Invasive Respiratory Support: NIRS の今後 ～コロナ禍から得たもの**  
 横山 俊樹<sup>1</sup>, 近藤 康博<sup>2</sup>, 木村 智樹<sup>2</sup>, 片岡 健介<sup>2</sup>, 山野 泰彦<sup>2</sup>, 川瀬 正樹<sup>1</sup>, 中島 義仁<sup>1</sup>, 市原 利彦<sup>1</sup> (1. 公立陶生病院救急部集中治療室, 2. 公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科)

**3月3日(金) 12:50～14:20 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A**  
**シンポジウム 12 (SY) 重症 COVID-19 への戦いはまだ続く 全身管理編**

座長：中森 靖 (関西医科大学総合医療センター救急医学科)  
 橋本 英樹 (東京大学医学部附属病院感染症内科)

- SY12-1 血中 Interleukin-6 値は重症 COVID-19 の細菌感染合併を予測しうる**  
 柄澤 智史, 秦 奈々美, 今枝 太郎, 服部 憲幸, 中田 孝明 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)
- SY12-2 重症 COVID-19 患者の腸内細菌叢の推移**  
 清水 健太郎<sup>1</sup>, 平田 陽彦<sup>2</sup>, 徳平 夏子<sup>3</sup>, 古出 萌<sup>3</sup>, 内山 昭則<sup>3</sup>, 小倉 裕司<sup>1</sup>, 織田 順<sup>1</sup> (1. 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2. 大阪大学医学部附属病院呼吸器内科, 3. 大阪大学医学部附属病院集中治療部)
- SY12-3 重症 COVID-19 に合併する真菌症にどう対応するか**  
 岡森 慧<sup>1</sup>, 神元 繁信<sup>1</sup>, 内田 智也<sup>1</sup>, 小澤 拓矢<sup>1</sup>, 馬場 里英<sup>1</sup>, 萩原 祥弘<sup>2</sup>, 荒井 大輔<sup>1</sup>, 高橋 秀徳<sup>1</sup>, 小倉 崇以<sup>2</sup>, 仲地 一郎<sup>1</sup> (1. 済生会宇都宮病院呼吸器内科, 2. 済生会宇都宮病院救急・集中治療科)
- SY12-4 免疫抑制状態の患者に対する当院における COVID-19 治療戦略**  
 宮野 結実子<sup>1</sup>, 和田 大樹<sup>1</sup>, 鳥津 遥香<sup>1</sup>, 丸山 修平<sup>1</sup>, 金山 周史<sup>1</sup>, 齊藤 福樹<sup>1</sup>, 吉矢 和久<sup>1</sup>, 中森 靖<sup>1</sup>, 欽方 安行<sup>2</sup> (1. 関西医科大学総合医療センター, 2. 関西医科大学附属病院)
- SY12-5 小児における重症 COVID-19 治療戦略**  
 本村 誠, 長谷川 達也, 穂積 拓考, 和田 翔, 青木 智史, 池山 貴也 (あいち小児保健医療総合センター集中治療科)

**3月3日(金) 14:25～15:55 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A**  
**シンポジウム 13 (SY) 重症 COVID-19 への戦いはまだ続く 呼吸管理編**

座長：成松 英智 (札幌医科大学医学部救急医学講座・高度救命救急センター)  
 吉田 健史 (大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室)

- SY13-1 当センターにおける重症 COVID-19 治療の戦果**  
 渡邊 篤, 西田 岳史, 田中 淳, 川田 真大, 梅村 稔, 中本 直樹, 加藤 雅也, 木口 雄之, 中堀 泰賢, 藤見 聡 (大阪急性期・総合医療センター救急診療科)

- SY13-2 COVID-19 肺炎に対する人工呼吸管理中の air leak syndrome 発症のリスク  
三宅 のどか<sup>1,2</sup>, 五十嵐 豊<sup>1,2</sup>, 中江 竜太<sup>1,2</sup>, 溝淵 大騎<sup>1,2</sup>, 平林 篤志<sup>1,2</sup>, 増野 智彦<sup>1,2</sup>,  
横堀 将司<sup>1,2</sup> (1. 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 2. 日本医科大学救急医学教室)
- SY13-3 ALS を回避する～重症 COVID-19 関連肺炎の人工呼吸器治療戦略～  
前島 慶人, 重本 達弘, 重里 尚, 白 健人 (大阪市立総合医療センター麻酔科・ICU)
- SY13-4 CT スコアを用いた重症 COVID 肺炎患者の予後予測の検討  
大井 康史<sup>1</sup>, 小川 史洋<sup>1,2</sup>, 山城 恒雄<sup>3</sup>, 松下 彰一郎<sup>3</sup>, 小栗 純子<sup>1,2</sup>, 歌田 州佑<sup>1,2</sup>, 三澤 菜穂<sup>1,2</sup>,  
本澤 大志<sup>1,2</sup>, 安部 猛<sup>2,4</sup>, 竹内 一郎<sup>1,2,4</sup> (1. 横浜市立大学附属病院救急科, 2. 横浜市立大学医学部救急医学教室, 3. 横浜市立大学医学部放射線診断学教室, 4. 横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター)
- SY13-5 重症 COVID-19 に対する V-V ECMO 中に near apneic ventilation 管理を行った症例の胸部 CT 変化を検討する  
緒方 嘉隆, 濱口 真成, 山田 知樹 (八尾徳洲会総合病院救急集中治療科)

3月3日 (金) 16:00～17:20 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A  
シンポジウム 14 (SY) 重症 COVID-19 への戦いはまだ続く 施設管理編

座長：小谷 透 (昭和大学病院集中治療科)  
仲村 佳彦 (福岡大学病院救命救急センター)

- SY14-1 ICU vs. HCU で治療された人工呼吸器を要する COVID-19 患者の予後比較  
大邊 寛幸, 康永 秀生 (東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学)
- SY14-2 中規模市中病院における重症 COVID-19 感染症の治療戦略  
山本 章貴, 富田 正樹 (三重県立総合医療センター救命救急センター)
- SY14-3 COVID-19 重症肺炎患者に対する全診療科による治療体制の構築と成績  
藤井 弘通<sup>1</sup>, 江原 省一<sup>1</sup>, 溝端 康光<sup>2</sup>, 柴田 利彦<sup>3</sup> (1. 大阪公立大学大学院医学研究科集中治療医学, 2. 大阪公立大学大学院医学研究科救急医学, 3. 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科)
- SY14-4 感染症指定医療機関と三次救急医療機関を同一施設に整備する理想性  
野田 彰浩 (東京都立豊島病院)
- SY14-5 空調管理からみた COVID-19 対応の 2 年半  
石井 健<sup>1</sup>, 西本 佳代<sup>2</sup>, 田村 東子<sup>2</sup>, 富田 静香<sup>1</sup>, 早川 桂<sup>1</sup>, 山口 和将<sup>1</sup> (1. 国家公務員共済組合連合会虎の門病院集中治療科, 2. 虎の門病院看護部)

3月3日 (金) 14:50～16:20 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1  
シンポジウム 15 (SY) 徹底討論！ ICU-AW の正体は一体何なのか？

座長：藤野 裕士 (大阪大学大学院医学系研究科麻酔集中治療医学)

- SY15-1 高齢敗血症患者では PICS 発症率が上昇し、長期予後が不良である - 単施設前向き観察研究 -  
井上 茂亮, 中西 信人, 大野 雄康, 小谷 穰治 (神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野)
- SY15-2 敗血症における筋萎縮と鎮静薬の影響  
甲斐 慎一 (京都大学医学部附属病院麻酔科)
- SY15-3 実験的敗血症ラットモデルにおける末梢神経および筋線維の形態学および病態生理学的変化  
日野 博文 (浅草病院病院長)
- SY15-4 敗血症における筋力低下とその治療  
立岩 浩規 (高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)

**3月3日(金) 12:50～13:50 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン  
シンポジウム 16 (SY) 論文探沢への道～the long and winding road**

座長：川崎 達也（静岡県立こども病院集中治療センター）

- SY16-1 症例報告を書こう！  
矢田部 智昭（公立西知多総合病院救急診療センター）
- SY16-2 臨床研究論文を投稿しよう！  
櫻谷 正明（JA 広島総合病院救急・集中治療科）

**3月3日(金) 8:00～9:30 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
シンポジウム 17 (SY) 入れればいいのか太ればいいのか助かればいいのか  
～栄養管理のアウトカムを考える**

座長：長尾 晶子（広島大学病院栄養管理部）  
深柄 和彦（東京大学医学部附属病院手術部）

- SY17-1 米国臨床経験における急性期の臨床栄養管理と登録栄養士 (RDN) の責務  
松本 菜々（東京大学大学院医学系研究科）
- SY17-2 小児専門病院 PICU の早期栄養管理への過程と方向性の検討  
田中 紀子<sup>1</sup>、佐藤 文香<sup>2</sup>、永瀬 弘之<sup>3</sup>、高増 哲也<sup>4</sup>（1. 神奈川県立こども医療センター栄養管理科、  
2. 神奈川県立こども医療センター看護局、3. 神奈川県立こども医療センター救急・集中治療科、  
4. 神奈川県立こども医療センターアレルギー科）
- SY17-3 管理栄養士配置による早期経腸栄養開始と栄養量充足の推進がもたらすアウトカムを考える  
真壁 香菜<sup>1</sup>、田淵 聡子<sup>1</sup>、小川 真人<sup>3</sup>、三ヶ尻 礼子<sup>1</sup>、山田 倫子<sup>1,2</sup>、山本 育子<sup>1</sup>、高橋 路子<sup>1,2</sup>（1. 神戸大学医学部附属病院栄養管理部、2. 神戸大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科、3. 神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部）
- SY17-4 多職種で関わる栄養管理について ～タンパク質補給量とアウトカムを考える～  
林 純平<sup>1</sup>、工藤 雄洋<sup>1</sup>、横手 隆幸<sup>1</sup>、南村 智史<sup>1</sup>、眞弓 健吾<sup>2</sup>、浅見 優<sup>2</sup>、高橋 宏行<sup>2</sup>（1. 済生会横浜市東部病院栄養部、2. 済生会横浜市東部病院集中治療科）
- SY17-5 当院集中治療室における早期栄養開始と課題  
宮島 功（近森病院臨床栄養部）

**3月3日(金) 8:30～9:30 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2  
シンポジウム 18 (SY) ICUの機能をどう評価するのか**

座長：浅賀 健彦（香川大学医学部付属病院集中治療部）  
土井 松幸（浜松医科大学医学部附属病院集中治療部）

- SY18-1 2022年度 集中治療専門医研修施設 調査報告  
宮崎 裕也<sup>1</sup>、土井 松幸<sup>2</sup>、板垣 大雅<sup>3</sup>、原 嘉孝<sup>4</sup>、熊澤 淳史<sup>5</sup>、浅賀 健彦<sup>6</sup>、新山 和也<sup>7</sup>、  
高木 俊介<sup>8</sup>、小松 康宏<sup>9</sup>、橋本 悟<sup>10</sup>、志馬 伸朗<sup>11</sup>（1. 埼玉県済生会川口総合病院救急・総合内科、  
2. 浜松医科大学医学部附属病院集中治療部、3. 徳島大学病院 ER・災害医療診療部、4. 藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座、5. 堺市立総合医療センター集中治療科、6. 香川大学医学部附属病院集中治療部、7. 埼玉医科大学国際医療センター看護部、8. 横浜市立大学附属病院集中治療部、9. 群馬大学大学院医学系研究科医療の質・安全学、10. 京都府立医科大学附属病院集中治療部、11. 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学）
- SY18-2 診療の質指標開発の経過報告と DPC データを用いた全国の集中治療室における Evidence-Practice gap の実態  
熊澤 淳史（堺市立総合医療センター集中治療科）



**3月3日(金) 9:40～11:10 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**シンポジウム 19 (SY) 術後 AKI～この悩ましき病態に対峙する**

座長：内田 篤治郎（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心臓呼吸器麻酔学分野）

- SY19-1 周術期尿中酸素分圧持続測定の可能性  
井口 直也（大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室）
- SY19-2 成人患者における周術期腎障害の Update  
溝田 敏幸（京都大学医学部附属病院手術部/麻酔科）
- SY19-3 小児の周術期腎障害：成人との類似点と相違点  
木村 聡（岡山大学病院医療情報部・麻酔科蘇生科）

**3月3日(金) 14:30～16:00 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**シンポジウム 20 (SY) 小児の End-of-Life Care 子どもの最善の利益とは？**

座長：黒澤 寛史（兵庫県立こども病院小児集中治療科）  
新津 健裕（埼玉県立小児医療センター集中治療科）

- SY20-1 小児集中治療における終末期医療で、現場は何に困っているのか  
岡田 広（松戸市立総合医療センター小児集中治療科）
- SY20-2 子どもの最善の利益を巡る議論の多元性とこれから  
笹月 桃子<sup>1,2</sup>（1. 西南女学院大学保健福祉学部, 2. 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野）
- SY20-3 小児の End-of-Life Care における意思決定と子どもの最善の利益  
横野 恵（早稲田大学社会科学部）
- SY20-4 小児集中治療領域における終末期ケアの課題～多職種で関わる際に大切にしたいこと～  
余谷 暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）

**3月4日(土) 9:40～11:10 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A**  
**シンポジウム 21 (SY) 外傷初期診療におけるノンテクニカルスキルと多職種連携**

座長：梅村 穰（大阪急性期・総合医療センター救急診療科）  
森村 尚登（帝京大学医学部救急医学講座）

- SY21-1 当院における Quality Indicator としての外傷蘇生シミュレーショントレーニングの評価法の提案  
西村 哲郎<sup>1</sup>, 佐尾山 裕生<sup>1</sup>, 内田 健一郎<sup>1</sup>, 河本 晃宏<sup>1</sup>, 日村 帆志<sup>1</sup>, 芳竹 宏幸<sup>1</sup>, 出口 亮<sup>1</sup>, 栗正 誠也<sup>1</sup>, 山本 啓雅<sup>1</sup>, 溝端 康光<sup>1</sup>, 畠山 稔弘<sup>2</sup>（1. 大阪公立大学大学院医学研究科救急医学, 2. 獨協医科大学埼玉医療センター）
- SY21-2 外傷診療チームマネジメントに関する当院の取り組み -Team Management Team-  
中堤 啓太<sup>1</sup>, 藤田 晃浩<sup>1</sup>, 北原 嶺<sup>2</sup>, 原島 瑞葵<sup>2</sup>, 田中 今日子<sup>3</sup>, 齋藤 和憲<sup>3</sup>（1. 東京医科歯科大学病院救命救急センター, 2. 東京医科歯科大学病院救命救急センター院内救命士, 3. 東京医科歯科大学病院救命救急センター看護師）
- SY21-3 ダメージコントロール戦略を完全なものとするチームマネジメントの実際  
下条 芳秀, 松本 亮, 山本 祐太郎, 川口 留以, 藏本 俊輔, 室野井 智博, 岡 和幸, 木谷 昭彦, 比良 英司, 渡部 広明（島根大学医学部附属病院高度外傷センター）
- SY21-4 当院における外傷初期診療での多職種連携について  
松尾 健太郎, 神山 治郎, 人見 秀, 鈴木 源, 坂本 早紀, 川浦 洋征, 勅使河原 勝伸, 五木田 昌士, 田口 茂正, 清田 和也（さいたま赤十字病院高度救命救急センター）
- SY21-5 外傷診療体制は多機関、多職種で構築する  
小林 誠人, 下原 輔, 宗村 祐人, 萩原 尊礼, 和田 大和, 樋口 遼, 松村 圭祐, 後藤 保, 門馬 秀介（鳥取県立中央病院高次救急集中治療センター）

**3月4日(土) 8:20～9:50 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール1**  
**シンポジウム 22 (SY) VV-ECMO 離脱のタイミング, みんなどうしてる?**

座長: 竹田 晋浩 (かわぐち心臓呼吸器病院院長)

- SY22-1 ECMO weaning & trial off の課題  
 濱口 純, 清水 敬樹 (東京都立多摩総合医療センター ECMO センター)
- SY22-2 呼吸を育てる, ECMO Weaning  
 小倉 崇以, 萩原 祥弘, 藤田 健亮 (済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター救急・集中治療科)
- SY22-3 重症急性呼吸窮迫症候群の ECMO 短期離脱と関連する胸部 CT 画像上の陰影の特徴  
 錦見 満暁<sup>1</sup>, 大下 慎一郎<sup>1</sup>, 島谷 竜俊<sup>1</sup>, 福本 航<sup>2</sup>, 粟井 和夫<sup>2</sup>, 増田 衛<sup>3</sup>, 藤塚 健次<sup>3</sup>,  
 中村 光伸<sup>3</sup>, 志馬 伸明<sup>1</sup> (1. 広島大学, 2. 広島大学大学院放射線診断学, 3. 前橋赤十字病院高度救命救急センター)
- SY22-4 プロトコル導入による V-V ECMO 離脱時の評価方法の確立  
 菅 なつみ<sup>1</sup>, 今枝 太郎<sup>1</sup>, 服部 憲幸<sup>1</sup>, 宮崎 瑛里子<sup>2</sup>, 長野 南<sup>2</sup>, 古川 豊<sup>2</sup>, 栗田 健郎<sup>1</sup>,  
 安部 隆三<sup>3</sup>, 中田 孝明<sup>1</sup> (1. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2. 千葉大学医学部附属病院臨床工学センター, 3. 大分大学医学部救急医学講座)

**3月4日(土) 12:40～14:10 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**シンポジウム 23 (SY) 集中治療認証理学療法士作ります**

座長: 高橋 哲也 (順天堂大学保健医療学部)

- SY23-1 集中治療専門理学療法士制度設立に向けて  
 高橋 哲也 (集中治療 PT・OT・ST 委員会)
- SY23-2 集中治療領域で働く理学療法士のためのミニマムスタンダード  
 加藤 倫卓 (常葉大学健康科学部静岡理学療法学科)
- SY23-3 集中治療理学療法士テキスト発刊と目的  
 小幡 賢吾<sup>1,2</sup> (1. 岡山赤十字病院リハビリテーション科, 2. 日本集中治療医学会 PT・OT・ST 委員会)

## 【ジョイントシンポジウム】

**3月4日(土) 12:40～14:10 第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール**  
**ジョイントシンポジウム (JSY) 重症ポンプ失調に対し機械的循環補助をどのように使用すべきか**  
**(日本集中治療医学会・日本循環器学会ジョイントシンポジウム)**

座長: 佐藤 直樹 (かわぐち心臓呼吸器病院循環器内科)  
 中川 義久 (滋賀医科大学循環器内科)

- JSY-1 古典的循環フレームワークで機械的補助循環を操る～目標とする循環動作点に到達するためには?～  
 朔 啓太 (国立循環器病研究センター研究所循環動態制御部)
- JSY-2 機械的循環補助装置が血行動態に与える影響の検討と臨床への応用  
 矢作 和之 (三井記念病院)
- JSY-3 我々は臨床の現場で機械的循環補助をどのように使うべきかー適切で安全な質の高い管理とは  
 川上 将司 (飯塚病院循環器内科)
- JSY-4 急性冠症候群に伴う重症心原性ショックに対し VA-ECMO をうまく使いこなす  
 鶴木 崇<sup>1</sup>, 松下 裕貴<sup>2</sup>, 横田 翔平<sup>2</sup>, 中山 智子<sup>1</sup>, 朔 啓太<sup>2</sup>, 澤村 匡史<sup>1</sup> (1. 済生会熊本病院集中治療室, 2. 国立循環器病研究センター循環動態制御部)

## 【パネルディスカッション】

3月2日(木) 11:20～12:50 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1  
パネルディスカッション 1 (PD) RRS の効果を考えるー臨床指標はなにが最適か?ー

座長: 安宅 一晃 (奈良県総合センター集中治療部)  
若林 健二 (東京医科歯科大学学生体集中管理学)

PD01-1 国内における RRS 指針作成の必要性

藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学救急医学)

PD01-2 全国調査による Rapid Response System の問題点抽出と経年変化追跡: 初年度調査報告

藤原 紳祐<sup>1</sup>, 森安 恵実<sup>2</sup>, 仙頭 佳起<sup>3</sup>, 川崎 達也<sup>4</sup>, 細川 康二<sup>5</sup>, 内藤 貴基<sup>6</sup>, 藤谷 茂樹<sup>6</sup>, 栗田 健郎<sup>7</sup>, 升田 好樹<sup>8</sup>, 安宅 一晃<sup>9</sup> (1. 国立病院機構嬉野医療センター救急科, 2. 北里大学病院集中治療センター RST・RRT 室, 3. 名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野, 4. 静岡県立こども病院小児集中治療科, 5. 福井大学病院麻酔科蘇生科, 6. 聖マリアンナ医科大学救急医学, 7. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 8. 札幌医科大学集中治療医学, 9. 奈良県立病院機構奈良県総合医療センター集中治療部)

PD01-3 北里大学病院の Rapid Response System [RRS] の効果を考える

森安 恵実<sup>1</sup>, 齊藤 耕平<sup>1</sup>, 小山 明里<sup>1</sup>, 小池 朋孝<sup>1</sup>, 黒岩 政之<sup>2</sup>, 新井 正康<sup>3</sup> (1. 北里大学病院集中治療センター RST・RRT 室, 2. 北里大学医学部麻酔科学, 3. 北里大学医学部附属新世紀医療開発センター・集中治療医学)

PD01-4 千葉大学医学部附属病院における RRS 11 年間の活動実績と臨床効果

栗田 健郎<sup>1</sup>, 富田 啓介<sup>1</sup>, 大島 拓<sup>1,2,3</sup>, 中田 孝明<sup>1,2</sup> (1. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2. 千葉大学災害治療学研究所, 3. 千葉大学国際高等研究基幹)

PD01-5 各施設の現状: 聖マリアンナ医科大学病院

谷井 梨美<sup>1</sup>, 内藤 貴基<sup>2</sup>, 森川 大樹<sup>2</sup>, 藤谷 茂樹<sup>2</sup> (1. 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院, 2. 聖マリアンナ医科大学病院)

PD01-6 Rapid Response System と Do-Not-Attempt-Resuscitation order: レジストリからの研究報告

辻 達也<sup>1,2</sup>, 仙頭 佳起<sup>1</sup>, 中西 俊之<sup>1</sup>, 田村 哲也<sup>1</sup>, 加古 英介<sup>1</sup>, 佐藤 泉美<sup>2,3</sup>, 川上 浩司<sup>2</sup>, 川崎 達也<sup>4</sup>, 内藤 貴基<sup>5</sup>, 藤谷 茂樹<sup>5</sup>, 祖父江 和哉<sup>1</sup> (1. 名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野, 2. 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野, 3. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床疫学分野, 4. 静岡県立こども病院集中治療科, 5. 聖マリアンナ医科大学救急医学)

3月2日(木) 14:25～15:25 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1  
パネルディスカッション 2 (PD) RRS はじめました!! ～そしてどうなった?

座長: 安宅 一晃 (奈良県総合センター集中治療部)  
升田 好樹 (札幌医科大学集中治療医学)

PD02-1 日本院内救急検討委員会のレジストリ, In-hospital Emergency Registry In Japan を用いた RRS 効果判定管理

藤田 義人<sup>1</sup>, 伊藤 洋<sup>1</sup>, 下村 毅<sup>1</sup>, 奥村 将年<sup>2</sup>, 藤原 裕祥<sup>3</sup>, 森 一直<sup>4</sup>, 高林 拓也<sup>4</sup>, 河村 佑太<sup>4</sup> (1. 愛知医科大学医学部麻酔科・周術期集中治療部, 2. 愛知医科大学病院医療安全, 3. 名鉄病院周術期管理センター, 4. 愛知医科大学 NP 部)

PD02-2 退室前 24 時間 Early warning score と RRS・死亡退室との関連

吉田 徹<sup>1</sup>, 木村 哲也<sup>6</sup>, 中川 正人<sup>2</sup>, 伊藤 誠<sup>4</sup>, 山崎 正記<sup>5</sup>, 田中 拓<sup>3</sup>, 谷井 梨美<sup>1</sup>, 森川 大樹<sup>1</sup>, 内藤 貴基<sup>1</sup>, 藤谷 茂樹<sup>1</sup> (1. 聖マリアンナ医科大学救急医学, 2. 聖マリアンナ医科大学病院 IT 戦略推進室, 3. 川崎市立多摩病院救急災害医療センター, 4. 川崎市立多摩病院医療情報部, 5. 京都府立医科大学附属病院集中治療部, 6. 京都府立医科大学附属病院医療情報部)

PD02-3 EWS 自動計算アプリを用いたスコアリングの根源的課題

野口 綾子<sup>1</sup>, 山田 知明<sup>2</sup>, 内村 祐之<sup>2</sup>, 藍 真澄<sup>2</sup>, 小野 和代<sup>3</sup>, 鳥羽 三佳代<sup>4</sup>, 内御堂 亮<sup>5</sup>, 若林 健二<sup>5</sup> (1. 東京医科歯科大学大学院災害・クリティカルケア看護学, 2. 東京医科歯科大学病院医療情報部, 3. 東京医科歯科大学病院医療安全管理部, 4. 東京医科歯科大学病院クオリティ・マネジメントセンター, 5. 東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野)

3月2日 (木) 9:00~10:15 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2  
パネルディスカッション 3 (PD) 「要請しやすい RRT」とは何か? (1)

座長: 有田 孝 (小倉記念病院 ICU)

森安 恵実 (北里大学病院集中治療センター RST・RRT 室)

PD03-1 地方医療支援病院 GICU 発 Critical Care Outreach Team の取り組みの紹介

石川 智也, 酒井 宏明, 高平 香, 藤田 智和 (藤枝市立総合病院)

PD03-2 MET 導入 10 年間での MET 要請に関する認識と要請内容の変化

池澤 幸紀, 中田 孝明, 富田 啓介, 平間 陽子, 山田 香織, 加藤 千博, 白井 志乃, 北田 里奈, 大谷 真由美, 栗田 健朗 (千葉大学医学部附属病院)

PD03-3 小児医療センターにおける Rapid Response System (RRS) 定着のための取り組み

濱本 学<sup>1,4</sup>, 新津 健裕<sup>1,4</sup>, 利根澤 慧<sup>1,4</sup>, 谷 昌憲<sup>1,4</sup>, 長谷川 久美子<sup>2,4</sup>, 細井 千晴<sup>2,4</sup>, 増留 功大<sup>2,4</sup>, 秋山 典子<sup>3,4</sup>, 植田 育也<sup>1,4</sup> (1. 埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター, 2. 埼玉県立小児医療センター看護部, 3. 埼玉県立小児医療センター医療安全管理室, 4. 埼玉県立小児医療センター RRS ワーキンググループ)

PD03-4 看護師主体の RRT は要請しやすい

森 一直<sup>1</sup>, 奥村 将年<sup>2</sup>, 高林 拓也<sup>1</sup>, 河村 佑太<sup>1</sup>, 分造 健太<sup>3</sup>, 岸本 登起子<sup>3</sup>, 藤田 義人<sup>4</sup> (1. 愛知医科大学病院 NP 部, 2. 愛知医科大学医療安全管理学, 3. 愛知医科大学病院看護部, 4. 愛知医科大学麻酔科学講座)

PD03-5 病院救急救命士をハブとした院内急変対応体制構築の試み

小山 洋史<sup>1</sup>, 神尾 直<sup>1</sup>, 中山 真代<sup>2</sup>, 川崎 由香<sup>2</sup>, 村上 大樹<sup>3</sup>, 作田 翔平<sup>3</sup>, 太田 隆嗣<sup>1,4</sup>, 鯨口 清満<sup>1,5</sup>, 山上 浩<sup>5</sup> (1. 湘南鎌倉総合病院集中治療部, 2. 湘南鎌倉総合病院看護部, 3. 湘南鎌倉総合病院救急調整室, 4. 湘南鎌倉総合病院麻酔科, 5. 湘南鎌倉総合病院救急総合診療科)

3月2日 (木) 10:25~11:40 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2  
パネルディスカッション 4 (PD) 「要請しやすい RRT」とは何か? (2)

座長: 新井 正康 (北里大学病院集中治療センター)

南 ゆかり (鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部)

PD04-1 看護師が窓口となる Rapid Response System の効果~窓口を広くとるために~

清水 彩里<sup>1,2</sup>, 市山 崇史<sup>1,3</sup>, 園田 光佑<sup>1,4</sup>, 山口 晃典<sup>1,4</sup>, 中村 博之<sup>1,2</sup>, 金子 香代<sup>5</sup>, 高尾 ゆきえ<sup>5</sup>, 三田 篤義<sup>1,6</sup>, 今村 浩<sup>1,7</sup> (1. 信州大学医学部附属病院集中治療部, 2. 信州大学医学部麻酔蘇生学教室, 3. 信州大学医学部呼吸器・アレルギー・感染症内科, 4. 信州大学医学部腎臓内科, 5. 信州大学医学部附属病院看護部, 6. 信州大学医学部移植外科, 7. 信州大学医学部救急集中治療医学講座)

PD04-2 看護師主導の RRS 体制 - 要請しやすい RRS を目指して -

濱口 純, 清水 敬樹 (東京都立多摩総合医療センター救命救急センター・ECMO センター)

PD04-3 看護師主導の院内迅速対応システムと全事案の振り返りが要請件数を増加させる

田邊 翔太<sup>1</sup>, 中筋 真紀<sup>1</sup>, 津森 律代<sup>2</sup>, 山崎 潮<sup>1</sup>, 秦 昌子<sup>1</sup>, 松本 慶太<sup>2</sup>, 宇賀田 圭<sup>2</sup>, 松田 高志<sup>2</sup> (1. 松江赤十字病院救命救急センター, 2. 松江赤十字病院集中治療室)

PD04-4 院内組織力を集結して前進しよう! - 要請しやすい RRT を目指して -

赤塚 正幸<sup>1</sup>, 巽 博臣<sup>1</sup>, 春名 純平<sup>2</sup>, 升田 好樹<sup>1</sup> (1. 札幌医科大学医学部集中治療学, 2. 札幌医科大学附属病院看護部)

**3月2日 (木) 14:15～15:45 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2  
パネルディスカッション 5 (PD) 聞かせてください、あなたの気持ち 寄り添います、その気持ち**

座長：大野 美香（国立病院機構名古屋医療センター救命救急センター ICU）  
瀬尾 龍太郎（神戸市立医療センター中央市民病院救急科）

- PD05-1 集中治療室における意思決定支援のための Advance Care Planning（患者や家族とどう話すか？）  
伊藤 香<sup>1</sup>、中川 俊一<sup>2</sup>、植村 健司<sup>3</sup>、大西 恵理子<sup>4</sup>、湯浅 美鈴<sup>5</sup>、大内 啓<sup>6</sup>（1. 帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター、2. コロンビア大学成人緩和ケア科、3. メリーランド大学老年・緩和医療科、4. オレゴン健康科学大学家庭医療科、5. 聖隷三方原病院ホスピス科、6. ハーバード大学ブリガムアンドウィメンズ病院救急部）
- PD05-2 当院 ICU における意思決定支援の実際  
鎌田 未来（東京ベイ・浦安市川医療センター ICU/CCU/SCU/看護部）
- PD05-3 重症患者と家族の意思を支えるメディエーション  
北村 愛子（大阪公立大学）
- PD05-4 集中治療における意思決定支援の課題と今後の取り組み  
立野 淳子（小倉記念病院）

**3月2日 (木) 11:10～12:40 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら  
パネルディスカッション 6 (PD) 集中治療室での Withhold/Withdraw にまつわる課題**

座長：伊藤 香（帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター・Acute Care Surgery 部門）  
氏家 良人（函館市病院局、市立函館病院病院局長）

- PD06-1 集中治療室で終末期を迎えたとき：Jonsen らの臨床倫理に基づくアプローチ  
児玉 聡（京都大学大学院文学研究科）
- PD06-2 Withdraw/withhold を許容する法的根拠  
樋口 範雄（武蔵野大学法学部）
- PD06-3 集中治療終末期における緩和ケア  
木澤 義之（筑波大学医学医療系）
- PD06-4 救急・集中治療室における Goals-of-care discussion：米国での現場では  
大内 啓（ハーバード大学医学部救急部）

**3月2日 (木) 9:20～10:50 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
パネルディスカッション 7 (PD) 敗血症性心筋障害とはなんだろうか？**

座長：今村 浩（信州大学救急集中治療医学）  
遠藤 智之（東北医科薬科大学病院救急科）

- PD07-1 敗血症性心筋障害の文献レビュー  
田上 隆（日本医科大学武蔵小杉病院救命救急科）
- PD07-2 敗血症性心筋障害：診断と治療の実際  
西山 慶、松井 亨、晝間 優貴、布施 理子、大橋 さとみ、本多 忠幸（新潟大学）
- PD07-3 敗血症性心筋症における心筋ミトコンドリアの構造的・機能的異常と治療戦略  
黒嶋 健起、和知 修太郎、井原 えり子、川口 哲、岡田 基（旭川医科大学病院救命救急センター・集中治療部）
- PD07-4 敗血症による難治性低心拍出量性ショックへの高インスリン血症・正常血糖療法（HIET）  
大野 博司（洛和会音羽病院 ICU/CCU）

- PD07-5 敗血症性ショック患者への人工心肺装置 (V-A ECMO) 使用に関する検討  
 三角 香世<sup>1</sup>, 神元 繁信<sup>2</sup>, 藤田 健亮<sup>1</sup>, 木村 拓哉<sup>1</sup>, 鯉沼 俊貴<sup>1</sup>, 萩原 祥弘<sup>1</sup>, 小倉 崇以<sup>1</sup> (1. 済生会宇都宮病院救急・集中治療科, 2. 済生会宇都宮病院呼吸器内科)

**3月2日 (木) 9:00 ~ 10:30 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**パネルディスカッション 8 (PD) 診療報酬改定は臨床工学技士の理想的な配置をもたらすのか?**

座長: 木村 政義 (兵庫医科大学病院臨床工学部)  
 山下 芳久 (埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科)

- PD08-1 当院の集中治療室における臨床工学技士の配置と業務内容の変化について  
 関 善久<sup>1</sup>, 永岡 祥<sup>1</sup>, 室田 洵兵<sup>1</sup>, 門倉 理恵<sup>1</sup>, 神尾 芳江<sup>1</sup>, 高田 清史<sup>1</sup>, 中村 光伸<sup>2</sup> (1. 前橋赤十字病院医療技術部臨床工学技術課, 2. 前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)
- PD08-2 当院において5年以上の集中治療経験を有する臨床工学技士のICU専従化が困難である理由を考える  
 清水 弘太<sup>1</sup>, 栗山 直英<sup>2</sup>, 川治 崇泰<sup>2</sup>, 小松 聖史<sup>2</sup>, 早川 聖子<sup>2</sup>, 原 嘉孝<sup>2</sup>, 中村 智之<sup>2</sup>, 幸村 英文<sup>2</sup>, 西田 修<sup>2</sup> (1. 藤田医科大学病院臨床工学部, 2. 藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- PD08-3 臨床工学技士ってどのくらい居(要)るの? ~診療報酬改定を受けて~  
 安達 一真, 横山 真司 (兵庫県立西宮病院診療部臨床工学科)
- PD08-4 臨床工学技士は急性期病院の要である。  
 吉田 省造<sup>1,2</sup>, 柚原 利至<sup>2</sup>, 小嶋 寛正<sup>2</sup>, 古井 辰郎<sup>2</sup> (1. 岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター, 2. 岐阜大学医学部附属病院医療機器センター)

パネル  
ディス  
カッ  
ション

**3月2日 (木) 10:50 ~ 12:20 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**パネルディスカッション 9 (PD) シームレスICU ~診療の一貫性や質の担保をどうするか (1)**

座長: 小山 洋史 (湘南鎌倉総合病院集中治療部)

- PD09-1 治療状況を視える化する「軌跡シート」の取り組み  
 余川 順一郎<sup>1</sup>, 飛岡 明日香<sup>2</sup> (1. 金沢大学附属病院集中治療部, 2. 金沢大学附属病院看護部)
- PD09-2 円滑なICU診療・運営に有効なITツール  
 川口 剛史, 吉田 英樹, 森川 大樹, 津久田 純平, 内藤 貴基, 森澤 健一郎, 吉田 徹, 藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学救急医学)
- PD09-3 当院集中治療室で実践する週交代の診療責任者の配置: 診療の一貫性・質の向上を目指した取り組み  
 上野 義豊<sup>1</sup>, 田根 なつ紀<sup>2</sup>, 坂垣 大雅<sup>3</sup>, 大藤 純<sup>2</sup> (1. 徳島大学病院救急集中治療部, 2. 徳島大学大学院歯歯薬学研究所救急集中治療医学分野, 3. 徳島大学病院ER・災害医療診療部)
- PD09-4 Tele-ICUとオンライン会議システムを活用した毎朝のICUカンファレンス  
 増山 智之, 塩塚 潤二, 讃井 将満 (自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部)

**3月2日 (木) 14:25 ~ 15:55 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**パネルディスカッション 10 (PD) シームレスICU ~診療の一貫性や質の担保をどうするか (2)**

座長: 若林 健二 (東京医科歯科大学病院集中治療部)

- PD10-1 医師40名の当科におけるチーム制ICU診療に対する取り組み  
 南和, 神山 治郎, 五木田 昌士, 八坂 剛一, 田口 茂正 (さいたま赤十字病院救命救急センター)
- PD10-2 オンライン化や患者情報システムの活用による診療の効率と質の向上 - 杏林救急の工夫 -  
 持田 勇希, 海田 賢彦, 山口 芳裕 (杏林大学医学部救急医学)
- PD10-3 若手中心で診療する、地方都市中核病院ICUの情報共有と意思決定体制  
 土手 尚, 渥美 生弘 (聖隷浜松病院救命救急センター)

PD10-4 ハイブリッド多職種回診とゴールシート活用によるICUチームの情報共有  
鶴川 豊世武, 野坂 宜之, 三島 有華, 若林 健二 (東京医科歯科大学病院集中治療部)

3月3日(金) 8:00~9:30 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール1  
パネルディスカッション 11 (PD) ICUが院内医療安全に寄与できることは何か?

座長: 谷本 玲子 (鳥取大学医学部附属病院整形外科・スポーツ医科学センター・リハビリテーション部)  
中村 京太 (横浜市立大学附属市民総合医療センター医療の質・安全管理部)

PD11-1 集中治療医の能力は医療安全業務にかなり役立つ!

奥村 将年 (愛知医科大学病院医療安全管理室)

PD11-2 集中治療部門から、安全な酸素療法デバイスの使用を広める

森山 潔<sup>1</sup>, 小谷 真理子<sup>1</sup>, 萬 知子<sup>1</sup>, 白地 絢<sup>2</sup>, 村野 祐司<sup>2</sup>, 林 晶子<sup>3</sup>, 渡邊 好江<sup>4</sup>, 原田 雅子<sup>5</sup>,  
濱野 繁<sup>5</sup>, 中村 香織<sup>5</sup> (1. 杏林大学医学部麻酔科学教室, 2. 杏林大学医学部付属病院臨床工学室,  
3. 杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター, 4. 杏林大学医学部付属病院 HCU, 5. 杏林大学医  
学部付属病院中央集中治療室)

PD11-3 RRT・CCOTでICUと病棟をつなぐ

森安 恵実<sup>1</sup>, 小山 明里<sup>1</sup>, 小池 朋孝<sup>1</sup>, 齋藤 耕平<sup>1</sup>, 黒岩 政之<sup>1,2</sup>, 新井 正康<sup>1,2,3</sup> (1. 北里大学病院集  
中治療センター RST/RRT室, 2. 北里大学医学部麻酔科学, 3. 北里大学医学部附属新世紀医療開  
発センター・集中治療医学)

PD11-4 ICU専任理学療法士は多病棟に渡るCovid-19重症例への肺理学療法実施にどのように寄与  
したか? (第二報)

大城 徹也<sup>1</sup>, 嶺井 陽<sup>1</sup>, 新崎 義人<sup>1</sup>, 平田 見己<sup>1</sup>, 星野 宗勲<sup>1</sup>, 関口 浩至<sup>2</sup>, 宮城 一也<sup>3</sup>,  
神里 興太<sup>4</sup>, 照屋 孝二<sup>4</sup>, 湖上 竜也<sup>5</sup>, 垣花 学<sup>1,5</sup> (1. 琉球大学病院リハビリテーション部, 2. 琉球  
大学医学部保健学科在宅・慢性看護学領域, 3. 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器  
内科学講座, 4. 琉球大学大学院医学研究科麻酔科学講座, 5. 琉球大学病院集中治療部)

PD11-5 ICUの医療安全に対する薬剤師の役割

前田 幹広 (聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

3月3日(金) 9:40~11:10 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール1  
パネルディスカッション 12 (PD) ICUが良ければ、病院が良くなる

座長: 新井 正康 (北里大学病院集中治療センター)  
奥村 将年 (愛知医科大学病院医療安全管理室)

PD12-1 集中治療医が医療安全に寄与できることは何か?

丹保 亜希仁<sup>1,2</sup> (1. 市立旭川病院救急科, 2. 旭川医科大学救急医学講座)

PD12-2 ハイケアユニットの退室基準としてのNEWSの有用性について

嶋岡 英輝, 三住 拓啓, 則本 和伸, 奥 比呂志, 寒川 貴文, 山田 聖, 川本 優, 加藤 裕司,  
豊國 佑季 (兵庫県立尼崎総合医療センター集中治療科)

PD12-3 病院全体の医療安全に寄与するための集中治療医の役割

神尾 直 (医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院)

PD12-4 チーム医療を目指した集中治療室入室時のタイムアウトの実践

数馬 聡, 巽 博臣, 相坂 和貴子, 黒田 浩光, 赤塚 正幸, 後藤 祐也, 田中 聡一, 鈴木 信太郎,  
升田 好樹 (札幌医科大学医学部集中治療医学)

PD12-5 院内総死亡数・ICU内死亡数・ICU転出後死亡数についての検討 (2018年度~2021年度,  
4年間の検討)

石井 健<sup>1</sup>, 西本 佳代<sup>2</sup>, 田村 東子<sup>2</sup>, 富田 静香<sup>1</sup>, 早川 桂<sup>1</sup>, 山口 和将<sup>1</sup> (1. 国家公務員共済組合連  
合会虎の門病院集中治療科, 2. 虎の門病院看護部)

3月3日(金) 12:50～14:45 第3会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 1  
パネルディスカッション 13 (PD) PICSのエビデンスをもとめて

座長：飯田 有輝（豊橋創造大学保健医療学部）  
井上 茂亮（神戸大学災害救急医学分野）

- PD13-KL Understanding long-term joblessness after critical illness: an important part of PICS  
Dale M. Needham (Pulmonary & Critical Care Medicine, and Physical Medicine & Rehabilitation, and Nursing, Johns Hopkins University, USA; Critical Care Physical Medicine & Rehabilitation Program, Johns Hopkins Hospital, USA)
- PD13-1 高齢敗血症患者では PICS 発症率は上昇し長期予後は不良である - 単施設前向き観察研究 -  
井上 茂亮, 中西 信人, 大野 雄康, 小谷 穰治 (神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野)
- PD13-2 重症患者の早期社会復帰を目指して -PICS-COVID study からみえてきたもの -  
畠山 淳司<sup>1,2</sup>, 中村 謙介<sup>2</sup>, 山川 一馬<sup>2</sup>, 井上 茂亮<sup>2</sup>, 西田 修<sup>2</sup> (1. 大阪医科薬科大学救急医学教室, 2. PICS-COVID study group)
- PD13-3 小児領域の PICS (PICS-p) について  
壺井 伯彦, 成相 諒子, 壺井 薫, 中川 聡 (国立成育医療研究センター手術集中治療部)
- PD13-4 リハビリテーションの果たす役割—多施設共同研究 J-RELIFE から—  
飯田 有輝<sup>1,2</sup>, 森沢 知之<sup>2</sup>, 小幡 賢吾<sup>4</sup>, 高橋 正浩<sup>3</sup>, 神津 玲<sup>6</sup>, 篠原 史都<sup>7</sup>, 柳田 頼英<sup>1</sup>, 河合 佑亮<sup>8</sup>, 山内 康太<sup>9</sup>, 渡辺 伸一<sup>10</sup> (1. 豊橋創造大学保健医療学部, 2. 藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 3. 順天堂大学保健医療学部, 4. 岡山赤十字病院リハビリテーション科, 5. 市立札幌病院リハビリテーション科, 6. 長崎大学大学院医歯薬総合研究科, 7. 藤田医科大学病院リハビリテーション部, 8. 藤田医科大学病院看護部, 9. 製鉄記念八幡病院リハビリテーション部, 10. 岐阜保健大学リハビリテーション学部)
- PD13-5 重症 COVID-19 患者家族の 2 割超に遠隔期 PTSD 関連症状が残存する  
野坂 宜之<sup>1</sup>, 溝江 亜紀子<sup>2</sup>, 野口 綾子<sup>3</sup>, 竹内 崇<sup>4</sup>, 若林 健二<sup>1</sup> (1. 東京医科歯科大学大学院生体集中管理学分野, 2. 東京医科歯科大学病院看護部, 3. 東京医科歯科大学大学院災害・クリティカルケア看護学分野, 4. 東京医科歯科大学大学院精神行動医学分野)
- PD13-6 ICU 入室中の患者家族との関わりが重症 COVID-19 患者の長期予後に与える影響：PICS-COVID 研究 post-hoc 解析  
上條 泰<sup>1</sup>, 劉 啓文<sup>2</sup>, 中村 謙介<sup>3</sup>, 畠山 淳司<sup>4</sup> (1. 信州大学医学部救急集中治療医学教室, 2. The Prince Charles Hospital Critical Care Research Group, 3. 帝京大学医学部救急医学講座, 4. 大阪医科薬科大学救急医学講座)
- PD13-7 敗血症の PICS 発症率：多施設前向き観察研究—ILOSS Study  
劉 啓文<sup>1,2</sup>, 高井 千尋<sup>3</sup>, 花澤 学<sup>4</sup>, 森田 恭成<sup>5</sup>, 本郷 貴識<sup>6,7</sup>, 下條 信威<sup>8</sup>, 入江 悠平<sup>9</sup>, 小倉 崇以<sup>3</sup>, 小谷 透<sup>10</sup>, アイロスタディ リサーチグループ<sup>2</sup> (1. プリンスタヤールズ病院集中治療リサーチグループ, 2. Faculty of Medicine, The University of Queensland, 3. 済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター救急・集中治療科, 4. 成田赤十字病院リハビリテーション科, 5. 名古屋医療センター救急集中治療科, 6. 岡山大学病院救命救急科, 7. 岡山済生会総合病院救急科, 8. 筑波大学附属病院救急・集中治療科, 9. 福岡大学病院救命救急センター, 10. 昭和大学集中治療医学講座)

3月3日(金) 14:00～15:30 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2  
パネルディスカッション 14 (PD) つなぐ命と気持ち～脳死移植における集中治療の役割～  
潜在的なドナーの認知から移植外科医につなげるところまで

座長：田崎 修（長崎大学病院高度救命救急センター）  
山本 小奈実（山口大学大学院医学系研究科保健学専攻）

- PD14-1 「脳死とされうる状態」と思われる患者が発生したときに集中治療医がなすべきこと  
成宮 博理, 飯塚 亮二（京都第二赤十字病院救急科）
- PD14-2 小児の脳死診断と臓器提供における課題—改訂ガイドラインの要点—  
荒木 尚<sup>1,2</sup> (1. 埼玉県立小児医療センター外傷診療科, 2. 埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)



- PD14-3 オーストラリアでの Family Donation Conversation Workshop 体験記  
森本 健司<sup>1</sup>, 小野 雄一郎<sup>2</sup> (1. モナシュ小児病院小児集中治療科, 2. 兵庫県立加古川医療センター救命救急センター)
- PD14-4 終末期の児童に対し「臓器移植の情報提供」を含めた選択肢提示を行うために - 当院の体制作りと現状 -  
塚原 紘平, 小原 隆史, 野島 剛, 上田 浩平, 本郷 貴識, 小崎 吉訓, 山本 浩継, 飯田 淳義, 青景 聡之, 湯本 哲也, 内藤 宏道, 中尾 篤典 (岡山大学病院高度救命救急センター)
- PD14-5 日本の移植医療を推進するために米国医療の現場からの提言  
大久保 恵太<sup>1,2</sup> (1. インディアナ大学医学部移植外科, 2. メイヨークリニック腹部移植外科)

**3月3日 (金) 15:35～17:05 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール 2  
パネルディスカッション 15 (PD) つなぐ命と気持ち ～脳死移植に向けて院内体制の構築～**

座長：清田 和也 (さいたま赤十字病院高度救命救急センター)  
谷口 巧 (金沢大学医薬保健研究域麻酔・集中治療医学)

- PD15-1 臓器提供体制の強化を目的とした移植医療支援室の医局内への設置とその効果  
岡野 雄一<sup>1</sup>, 桑原 謙<sup>1</sup>, 奥本 克己<sup>1</sup>, 山永 成美<sup>2</sup>, 平井 克樹<sup>3</sup>, 藤原 愛里<sup>4</sup>, 松尾 剛典<sup>4</sup>, 吉田 清美<sup>4</sup> (1. 熊本赤十字病院救急科, 2. 熊本赤十字病院外科, 3. 熊本赤十字病院小児科, 4. 熊本赤十字病院移植医療支援室)
- PD15-2 小児専門病院での脳死とされる状態の患者の発生頻度と脳死下臓器提供に至らない要因の検討  
秋田 千里, 佐藤 光則, 阪井 彩香, 鈴木 純平, 大井 正, 川野邊 宥, 田邊 雄大, 玉利 明信, 元野 憲作, 川崎 達也 (静岡県立こども病院集中治療科)
- PD15-3 救急・集中治療における患者家族支援のシステム化  
渥美 生弘, 林 美恵子, 古内 加耶, 徳山 仁美, 斎藤 隆介, 徳竹 雅之, 大熊 正剛, 土手 尚 (聖隷浜松病院救命救急センター)
- PD15-4 市中病院 Open ICU における臓器提供の現状と取り組み  
小川 健一朗, 萩原 康友, 須網 和也, 山田 真生, 後藤 緑, 北川 喜己 (名古屋掖済会病院救急科)
- PD15-5 臓器提供未経験病院における経験医師による改革～教育と意思確認の重要性～  
小山 泰明<sup>1</sup>, 高橋 雄治<sup>1</sup>, 望月 將喜<sup>1</sup>, 池知 大輔<sup>1</sup>, 本木 麻衣子<sup>1</sup>, 米村 拓<sup>1</sup>, 藤澤 薫<sup>1</sup>, 中野 秀比古<sup>1,2</sup>, 熊谷 美有紀<sup>1,3</sup>, 橋本 英樹<sup>1,4</sup> (1. 日立総合病院救急集中治療科, 2. 東京大学医学部附属病院救急集中治療科, 3. 湘南鎌倉総合病院救急総合診療科, 4. 東京大学医学部附属病院感染症内科)

**3月3日 (金) 8:00～10:10 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D  
パネルディスカッション 16 (PD) 集中治療におけるダイバーシティを考えよう**

座長：北山 未央 (金沢医科大学大学院看護部)  
山下 千鶴 (藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

- PD16-1 日本集中治療医学会におけるダイバーシティの現状報告  
武田 親宗 (京都大学医学部附属病院麻酔科)
- PD16-2 救急領域におけるダイバーシティの現在とこれから  
木田 佳子 (広島赤十字・原爆病院救急集中治療科)
- PD16-3 日本循環器学会におけるダイバーシティの取り組み  
中山 敦子 (榊原記念病院循環器内科)
- PD16-4 JMS のダイバーシティへの取り組み  
粟根 康浩 (株式会社ジェイ・エム・エスサージカル&セラピービジネスユニット統括部兼営業本部)

- PD16-5 社是“おもしろおかしく” 堀場製作所のダイバーシティ推進  
～一人ひとりの個性が輝くこと、その多様性こそが強み～  
森口 真希 (株式会社堀場製作所管理本部)
- PD16-6 村田製作所におけるダイバーシティ&インクルージョンの課題と取り組み  
奥田 裕之 (株式会社村田製作所 ESG・HR 統括部人材開発部)
- PD16-7 オムロンにおけるダイバーシティ & インクルージョン推進の取り組み  
丹羽 尊子 (オムロン株式会社グローバル人財総務本部企画室ダイバーシティ&インクルージョン推  
進課)
- PD16-8 ヒューマン・ヘルス・ケア (hhe) 理念の実現に向けたエーザイのダイバーシティ推進, こ  
れまでとこれから  
新庄 浩子 (エーザイ株式会社グローバル HR ストラテジー部)

**3月3日 (金) 8:00～9:30 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら**  
**パネルディスカッション 17 (PD) さあ、集中治療業務のやりがいについて熱く語ろう!**

座長: 宗万 孝次 (旭川医科大学病院診療技術部臨床工学技術部門)  
光家 努 (香川大学医学部附属病院臨床工学部)

- PD17-1 集中治療における臨床工学技士のキャリアデザイン  
山田 麻有佳, 森實 雅司 (済生会横浜市東部病院臨床工学部)
- PD17-2 集中治療へのエンゲージメントを向上させる方法  
畑中 祐也 (京都府立医科大学附属病院臨床工学部)
- PD17-3 集中治療業務の魅力と女性技士の関わり方  
上原 舞美<sup>1</sup>, 山香 修<sup>1</sup>, 吉田 圭介<sup>1</sup>, 内村 鴻一<sup>1</sup>, 河村 将照<sup>1</sup>, 山下 典雄<sup>1,2</sup> (1. 久留米大学病院臨床  
工学センター, 2. 久留米大学病院高度救命救急センター)
- PD17-4 集中治療業務のここが魅力 (若手の視点から)  
畠山 拓也 (秋田大学医学部附属病院臨床工学センター)

**3月3日 (金) 12:50～13:50 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら**  
**パネルディスカッション 18 (PD) 集中治療での終末期患者・家族のケアを考えよう**

座長: 田戸 朝美 (山口大学大学院医学系研究科)  
細堂 順一 (かわぐち心臓呼吸器病院看護部)

- PD18-1 集中治療領域終末期における家族の悲嘆を支える  
三須 侑子 (自治医科大学附属病院看護部高度治療部)
- PD18-2 振り向けばそこにあるもの～集中治療における EOL ケア～  
嶋田 安希 (大津赤十字病院)
- PD18-3 終末期患者・家族との意思決定やコミュニケーションに関するケア  
川島 徹治<sup>1,2</sup> (1. 関東学院大学看護学部看護学科, 2. 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)

**3月3日 (金) 15:40～17:10 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン**  
**パネルディスカッション 19 (PD) NeuroICU はじめよう**

座長: 杉山 和宏 (東京都立墨東病院高度救命救急センター)  
鈴木 秀鷹 (武蔵野赤十字病院救命救急科)

- PD19-1 持続脳波モニタリングを始めよう!～判読のカギは DSA ?!～  
神部 茉由, 中川 俊, 長谷川 綾香, 岡崎 哲, 日野 真彰, 藤井 修一, 中本 英後, 江川 悟史 (TMG  
あさか医療センター神経集中治療部)

- PD19-2 最重症くも膜下出血に対する体温管理と神経集中治療  
小畑 仁司<sup>1,2</sup>, 川上 真樹子<sup>2</sup>, 根来 孝義<sup>2</sup> (1. 大阪医科薬科大学救急医学 / 脳神経外科, 2. 大阪府三島救命救急センター)
- PD19-3 ICH score の予後予測精度の妥当性の検証  
藤本 佳久<sup>1</sup>, 江川 悟史<sup>2,3</sup> (1. 聖マリアンナ医科大学救急医学, 2. コロンビア大学アービングメディカルセンター神経集中治療部, 3. TMG あさか医療センター神経集中治療部)
- PD19-4 小児の神経集中治療におけるポイントオブケアの有用性について  
櫻井 淑男, 長田 浩平, 小林 信吾, 坂本 航, 内田 悠太, 小澤 純一, 関根 麻衣 (埼玉医科大学総合医療センター, 小児救命救急センター)
- PD19-5 一般病院でも可能なプロトコル化された神経集中治療の実践  
岡崎 智哉<sup>1</sup>, 則末 泰博<sup>1</sup>, 中澤 太一<sup>1</sup>, 小中 理大<sup>1,2</sup>, 鍋島 正慶<sup>1</sup>, 三反田 拓志<sup>1</sup> (1. 東京ベイ・浦安市川医療センター救急集中治療科集中治療部門, 2. 練馬光が丘病院総合救急診療科集中治療部門)
- PD19-6 皮膚所見からペラグラ脳症による意識障害を疑いナイアシン投与したところ改善が見られた一例  
服部 祐輝<sup>1</sup>, 水落 美紀<sup>2</sup>, 佐藤 淳<sup>2</sup>, 桑名 司<sup>2</sup>, 千葉 宜孝<sup>2</sup>, 齋藤 豪<sup>2</sup>, 木下 浩作<sup>2</sup> (1. 日本大学病院初期研修医, 2. 日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)
- PD19-7 神経集中治療における PICS, ICU 日記, 家族対応, コメディカルとの連携などの実際  
一二三 亨<sup>1</sup>, 白崎 加純<sup>1</sup>, 橋内 伸介<sup>2</sup>, 田中 しのぶ<sup>2</sup>, 大谷 典生<sup>1</sup> (1. 聖路加国際病院救急部・救命救急センター, 2. 聖路加国際病院 CCM)

3月3日 (金) 9:40～11:10 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
パネルディスカッション 20 (PD) 食べ物を粗末にするんじゃねえ！エネルギーとタンパク質から考える理想の ICU 飯

座長：小谷 穠治 (神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野 / 救命救急センター)  
清水 義之 (大阪母子医療センター集中治療科)

- PD20-1 至適エネルギー、タンパク質投与量の潮流；日本のプラクティスは適切か？  
東別府 直紀 (神戸市立医療センター中央市民病院)
- PD20-2 リハビリテーションの観点から見た至適エネルギー、タンパク質投与量  
立野 淳子 (小倉記念病院)
- PD20-3 目標エネルギー投与量への早期到達の是非  
井上 和茂<sup>1,2</sup>, 堀 智美<sup>2</sup>, 須永 将広<sup>2</sup>, 赤尾 美奈<sup>2</sup>, 金子 利恵<sup>2</sup>, 新川 野々<sup>2</sup>, 曹路地 重蔵<sup>2</sup>, 古内 義史<sup>2</sup>, 原田 直子<sup>2</sup>, 長谷川 栄寿<sup>1</sup> (1. 国立病院機構災害医療センター救命救急科, 2. 国立病院機構災害医療センター NST)
- PD20-4 重症患者の急性期後 ICU 相における高蛋白栄養の効果  
白井 邦博<sup>1</sup>, 小林 智行<sup>1</sup>, 佐藤 聖子<sup>1</sup>, 村上 博基<sup>1</sup>, 清水 美沙<sup>1</sup>, 野間 光貴<sup>1</sup>, 長谷川 佳奈<sup>2</sup>, 新田 翔<sup>3</sup>, 山田 太平<sup>1</sup>, 平田 淳一<sup>1</sup> (1. 兵庫医科大学救急災害医学, 2. 兵庫医科大学小児科学講座, 3. 大阪赤十字病院麻酔科・集中治療部)
- PD20-5 理想の ICU 飯のためのモニタリングとは？  
大島 拓<sup>1,2,3</sup> (1. 千葉大学国際高等研究基幹, 2. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 3. 千葉大学災害治療学研究所次世代災害治療学研究部門)

3月3日 (金) 12:50～14:20 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
パネルディスカッション 21 (PD) 医食のコラボ：栄養士×薬剤師

座長：泉野 浩生 (長崎大学病院高度救命救急センター)  
吉川 博 (広島大学病院薬剤部)

- PD21-1 集中治療における薬剤師による栄養管理  
奥川 寛, 土手 賢史, 小林 由佳 (京都桂病院薬剤科)

- PD21-2 重症患者情報の共有化により提案される栄養における、多職種チーム中での薬剤師の役割  
 島海 未奈<sup>1</sup>、松沼 悟<sup>1</sup>、関 徹也<sup>2</sup>、新井 真<sup>3</sup>、齋藤 隆哉<sup>3</sup>、野澤 一也<sup>3</sup>、須田 慎吾<sup>4</sup>、池田 寿昭<sup>4</sup>、  
 蒲原 英伸<sup>4</sup> (1. 東京医科大学八王子医療センター薬剤部、2. 東京医科大学八王子医療センター栄養  
 科、3. 東京医科大学八王子医療センターリハビリテーション部、4. 東京医科大学八王子医療セン  
 ター特定集中治療部)
- PD21-3 栄養士が考える薬剤師との連携  
 長尾 晶子<sup>1</sup>、榆山 洋子<sup>2</sup> (1. 広島大学病院栄養管理部、2. 広島大学病院薬剤部)
- PD21-4 ICUでの栄養管理において薬剤師・栄養士に求めること  
 眞次 康弘<sup>1,2,3</sup>、伊藤 圭子<sup>1,2,5</sup>、辻 雄輝<sup>4</sup>、佐伯 辰彦<sup>5</sup>、竹崎 亨<sup>5</sup>、楠 真二<sup>5</sup> (1. 県立広島病院栄養管  
 理科、2. 県立広島病院消化器外科、3. 県立広島病院周術期管理センター、4. 東京医科大学八王子医療セ  
 ンター特定集中治療部、5. 県立広島病院救急科)

3月3日(金) 8:40～9:40 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
 パネルディスカッション 22 (PD) 専門医も取ったしそろそろ研究しようかな、どこ行ったらいい  
 かな? (1)

座長：山川 一馬 (大阪医科薬科大学救急医学教室)

- PD22-1 今は医療の質管理の時代-quality improvement 2.0-  
 水野 篤 (聖路加国際病院医療の質管理室)
- PD22-2 目指すぞ世界のハブー臨床意思決定支援システムラボ in Kawaguchi -  
 川口 敦 (聖マリアンナ医科大学小児科)
- PD22-3 演題取り下げ
- PD22-4 敗血症研究室：基礎研究から敗血症の機序を解明し、臨床研究から敗血症診療のエビデンス  
 を創出する  
 近藤 豊 (順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科)
- PD22-5 網羅的分子解析に基づく新たな分子病態分類と個別化医療  
 松本 寿健、小倉 裕司、織田 順 (大阪大学附属病院高度救命救急センター)
- PD22-6 微小循環から臓器をみる研究 ～研究室のスタートアップと運営～  
 岡田 英志 (岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野)

3月3日(金) 9:50～11:20 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
 パネルディスカッション 23 (PD) 専門医も取ったしそろそろ研究しようかな、どこ行ったらいい  
 かな? (2)

座長：江木 盛時 (京都大学大学院医学研究科侵襲反応制御医学講座・麻酔科学分野)  
 山川 一馬 (大阪医科薬科大学救急医学教室)

- PD23-1 バーチャル研究室の試み  
 阿部 智一<sup>1,2,3</sup> (1. 筑波記念病院救急科・集中治療科、2. 筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ  
 分野、3. 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)
- PD23-2 うちで研究しないでどこでやるの？  
 土谷 飛鳥<sup>1,2</sup>、守田 誠司<sup>1</sup>、三浦 直也<sup>1</sup>、西野 智哉<sup>1</sup>、中川 儀英<sup>1</sup>、堤 悠介<sup>3,4</sup> (1. 東海大学医学部医  
 学科総合診療学系救命救急医学、2. 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学経済  
 学、3. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻医療検査展開学、4. 国立病院機構水戸医療セ  
 ンター救急科)
- PD23-3 集中治療におけるトランスレーショナルリサーチと多領域連携  
 若林 健二 (東京医科歯科大学生体集中管理学)
- PD23-4 基礎研究と臨床データの連携によるトランスレーショナルリサーチの実践を目指して  
 大網 毅彦、中田 孝明 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

PD23-5 臨床医としての視点から取り組む敗血症・ARDSの基礎・トランスレーショナル研究  
東條 健太郎 (横浜市立大学医学部生体制御・麻酔科学)

3月3日(金) 14:10～15:40 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
パネルディスカッション 24 (PD) 考えようあとのこと～ICU退室後の患者ケア

座長: 伊藤 有美 (杏林大学保健学部看護学科)  
宮崎 聡子 (東海大学医学部付属病院看護部集中治療室)

PD24-1 ICU退室後の病棟での患者ケアの真の姿とICU看護師が起こせる追い風  
植村 桜 (大阪市立総合医療センター集中治療センター)

PD24-2 PICS外来開始から3年～受診率と受診結果から見えてきたこと～

鈴木 規予<sup>1</sup>, 中村 謙介<sup>2</sup>, 細井 沙耶香<sup>1</sup>, 藤田 貴大<sup>3</sup>, 渡邊 奈穂<sup>3</sup> (1. (株)日立製作所日立総合病院看護局, 2. (株)日立製作所日立総合病院集中治療科, 3. (株)日立製作所日立総合病院リハビリテーション科)

PD24-3 PICSラウンドチーム形成における取り組みと課題

牧野 晃子<sup>1,2</sup>, 橋内 伸介<sup>2</sup>, 小坂 裕美<sup>3</sup>, 坂口 彩子<sup>3</sup>, 島津 かおり<sup>4</sup>, 島野 奨大<sup>3</sup>, 白崎 加純<sup>5</sup>, 高橋 佑太<sup>6</sup>, 田中 しのぶ<sup>2</sup>, 田村 富美子<sup>3</sup>, 松元 紀子<sup>7</sup>, 村上 学<sup>8</sup>, 安井 陽子<sup>9</sup>, 柳澤 八恵子<sup>2</sup>, 山田 智美<sup>9</sup>, 一三三 亨<sup>9</sup> (1. 聖路加国際大学大学院看護学研究科急性期看護学, 2. 聖路加国際病院救命救急センター, 3. 聖路加国際病院ICU, 4. 聖路加国際病院看護部, 5. 聖路加国際病院救急部, 6. 聖路加国際病院リハビリテーション科, 7. 聖路加国際病院栄養科, 8. 聖路加国際病院集中治療科, 9. 聖路加国際病院CCU)

3月3日(金) 12:50～14:20 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1  
パネルディスカッション 25 (PD) やさしいゆりかご～小児重症患者の質の高い搬送は予後を変えるか?～

座長: 賀来 典之 (九州大学病院救命救急センター)  
平井 克樹 (熊本赤十字病院こども医療センター小児科)

PD25-1 熊本県の小児救急搬送におけるPICU医の役割  
加納 恭子, 余湖 直紀, 武藤 雄一郎, 平井 克樹 (熊本赤十字病院小児科)

PD25-2 小児の長距離搬送:北海道における現実と課題  
和田 宗一郎, 荻原 重俊, 田村 卓也 (手稲溪仁会病院小児集中治療科)

PD25-3 安全に重篤小児を搬送するための専門チームの取り組みと概況

伊藤 友理枝<sup>1</sup>, 伊藤 友弥<sup>1</sup>, 池山 由紀<sup>1</sup>, 本村 誠<sup>2</sup>, 池山 貴也<sup>2</sup> (1. あいち小児保健医療総合センター救急科, 2. あいち小児保健医療総合センター集中治療科)

PD25-4 重篤な小児患者の搬送は誰が担うべきか - 小児搬送に関する本邦初の実地調査の結果をもとに -

野澤 正寛 (滋賀県立総合病院・小児保健医療センター救急科・小児科)

3月4日(土) 12:40～14:10 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A  
パネルディスカッション 26 (PD) ICU-AWを防ごう!～リハビリテーションと栄養療法

座長: 小谷 穰治 (神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野/救命救急センター)

PD26-1 急性期栄養療法と早期離床の限界を超えて

中村 謙介 (帝京大学医学部救急医学講座)

PD26-2 ICU-AWを防ぐための栄養とリハビリテーションについて, 管理栄養士の視点から

宮島 功 (近森病院臨床栄養部)

- PD26-3 挿管患者における退院時経口摂取自立に与える関連因子の検討  
森田 恭成<sup>1</sup>、渡辺 伸一<sup>2</sup>、金谷 貴洋<sup>3</sup>、岩崎 拓海<sup>4</sup>、東郷 建世<sup>1</sup>、金原 佑樹<sup>1</sup>、近藤 貴士郎<sup>1</sup>、鈴木 秀一<sup>1</sup> (1.名古屋医療センター救急集中治療科, 2.岐阜保健大学リハビリテーション学部理学療法学科, 3.北海道医療センターリハビリテーション科, 4.名古屋医療センターリハビリテーション科)
- PD26-4 ICUにおける人工呼吸患者の早期リハビリテーションおよび栄養管理とICU-AW発生との関連について：多施設後視研究  
水谷 元樹<sup>1</sup>、渡辺 伸一<sup>2,3</sup>、浅井 琢也<sup>1</sup>、平澤 純<sup>4</sup>、内藤 裕治<sup>5</sup>、上村 晃寛<sup>6</sup>、西村 将吾<sup>7</sup>、飯田 有輝<sup>8</sup> (1.一宮西病院リハビリテーション科, 2.国立病院機構名古屋医療センターリハビリテーション科, 3.岐阜保健大学リハビリテーション学部理学療法学科, 4.公立陶生病院リハビリテーション科, 5.国立病院機構静岡医療センターリハビリテーション科, 6.豊橋市民病院リハビリテーション科, 7.海南病院リハビリテーション科, 8.豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科)

3月4日(土) 9:30～11:00 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール2  
パネルディスカッション 27 (PD) 重症循環器疾患における多臓器障害を考える

座長：今村 浩 (信州大学救急集中治療医学)  
竹内 一郎 (横浜市立大学救急医学 / 高度救命救急センター)

- PD27-1 地方三次医療機関の elective critical care consultation で循環器医が連携を望む患者背景と臓器障害の検討  
松村 宣寿<sup>1</sup>、辻本 雄太<sup>1</sup>、蔵増 優<sup>1</sup>、小林 駿<sup>1</sup>、永井 美紗子<sup>1</sup>、齊藤 志穂<sup>1</sup>、山田 尚弘<sup>1</sup>、根本 信仁<sup>1</sup>、松井 幹之<sup>2</sup>、森野 一真<sup>1</sup> (1.山形県立中央病院救急科, 2.山形県立中央病院循環器内科)
- PD27-2 High intensity staffing general ICUにおける心原性ショックの予後  
中村 通孝、中平 敦士、立木 規与秀、竹本 聖、金城 昌志、江崎 麻衣子、福田 俊輔、喜久山 紘太、西谷 伸吾、安宅 一見 (地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県総合医療センター)
- PD27-3 院外心停止患者に対する ABCDEF バンドル・アプローチの有用性  
嘉嶋 勇一郎<sup>1</sup>、竹重 加奈子<sup>1</sup>、桑原 宏一郎<sup>2</sup>、今村 浩<sup>1</sup> (1.信州大学医学部救急集中治療医学, 2.信州大学医学部循環器内科)
- PD27-4 CCUにおける人工呼吸管理中の患者に対する早期経腸栄養プロトコル導入に関する検討  
齋藤 俊祐<sup>1,2</sup>、方山 真朱<sup>2</sup>、砂川 貴之<sup>3</sup>、野口 康子<sup>3</sup>、笹井 香織<sup>3</sup>、原田 顕治<sup>1</sup> (1.自治医科大学内科学講座循環器内科学部門, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門, 3.自治医科大学附属病院看護部)
- PD27-5 重症循環器疾患における急性腸間膜虚血症・消化管出血合併症例への取り組み  
重田 健太<sup>1,2</sup>、三宅 のどか<sup>2</sup>、溝淵 大騎<sup>2</sup>、萩原 純<sup>2</sup>、中江 竜太<sup>2</sup>、増野 智彦<sup>2</sup>、横堀 将司<sup>2</sup>、中田 淳<sup>3</sup>、山本 剛<sup>3</sup> (1.東邦大学医療センター大橋病院外科, 2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 3.日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科)

3月4日(土) 12:40～14:10 第4会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール2  
パネルディスカッション 28 (PD) ICUでの感染症サーベイランスをあらためて考える

座長：伊藤 雄介 (尼崎総合医療センター小児救急集中治療科)  
平松 玉江 (国立がん研究センター東病院看護部)

- PD28-1 JHAIS からみた集中治療領域サーベイランスの現状と課題、今後の方向性  
藤田 烈 (国際医療福祉大学未来研究支援センター)
- PD28-2 J-SIPHE を用いた集中治療室での AMR 対策について  
松永 展明 (国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター)
- PD28-3 JANIS における集中治療領域の薬剤耐性の現状と課題  
菅井 基行 (国立感染症研究所薬剤耐性研究センター)
- PD28-4 既存電子データを利用した感染管理サーベイランスの構築  
熊澤 淳史 (堺市立総合医療センター集中治療科)

**3月4日(土) 12:40～14:10 第5会場 国立京都国際会館 1F Room D**  
**パネルディスカッション 29 (PD) どんな重症患者でも運ぶトランスポーターの勇姿を見よ!**

座長：小倉 崇以 (済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター)  
清水 敬樹 (東京都立多摩総合医療センター ECMO センター)

- PD29-1 「日本集中治療医学会 集中治療を要する重症患者の広域搬送ガイドライン」について  
山口 大介 (防衛省航空自衛隊自衛隊入間病院)
- PD29-2  
PD29-3 重症患者の広域搬送ガイドライン：ナラティブ・レビューの総括  
藤田 健亮<sup>1</sup>, 中村 智之<sup>2</sup> (1. 済生会宇都宮病院救急・集中治療科栃木県救命救急センター, 2. 藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- PD29-4 重症患者の広域搬送ガイドライン システマティック・レビューの総括  
池山 貴也<sup>1</sup>, 川口 敦<sup>2,3,4</sup>, 大下 慎一郎<sup>5</sup> (1. あいち小児保健医療総合センター集中治療科, 2. 聖マリアンナ医科大学小児科, 3. 横浜市立大学次世代臨床研究センター, 4. モントリオール大学 Sainte Justine 小児病院研究所, 5. 広島大学大学院救急集中治療医学)
- PD29-5 Mobile ECMO で求められた臨床工学技士の役割  
田川 雅久<sup>1,2</sup> (1. 東京都立墨東病院麻酔科臨床工学室, 2. 東京都立多摩総合医療センター・ECMO センター)

**3月4日(土) 8:00～9:30 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら**  
**パネルディスカッション 30 (PD) SAVE-J II から見えてくる ECPR の展望**

座長：黒田 泰弘 (香川大学医学部救急災害医学)  
坂本 哲也 (帝京大学医学部救急医学講座)

- PD30-1 世界の RCT から見る ECPR の現状と未来  
井上 和茂<sup>1,2</sup>, 井上 明彦<sup>2</sup>, 一三 亨<sup>2</sup>, 坂本 哲也<sup>2</sup>, 黒田 泰弘<sup>2</sup> (1. 国立病院機構災害医療センター救命救急科, 2. SAVE-JII study group)
- PD30-2 本邦の ECPR の現状と未来：SAVEJII その後、独自の ECPR ガイドライン  
一三 亨 (聖路加国際病院救急部救命救急センター)
- PD30-3 心肺蘇生中の sign of life の有無は ECPR 導入基準に組み入れることができるのか  
文屋 尚史 (札幌医科大学医学部救急医学講座)
- PD30-4 ER 型救命救急センターにおける ECPR の実際  
磯川 修太郎, 一三 亨, 渡辺 悠, 堀江 勝博, 辛 紀宗, 後藤 正博, 白崎 加純, 大谷 典生 (聖路加国際病院救急部・救命救急センター)
- PD30-5 本邦で行われる ECPR の RCT 計画：体温管理設定温度における RCT  
井上 明彦<sup>1</sup>, 一三 亨<sup>2</sup>, 一原 直昭<sup>3</sup>, 坂本 哲也<sup>4</sup>, 黒田 泰弘<sup>5</sup> (1. 兵庫県災害医療センター救急部, 2. 聖路加国際病院救急部, 3. 東京大学医療品質評価学講座, 4. 帝京大学医学部救急医学講座, 5. 香川大学医学部救急災害医学)

**3月4日(土) 10:00～11:10 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら**  
**パネルディスカッション 31 (PD) 集中治療看護の課題と未来**

座長：卯野木 健 (札幌市立大学看護学部看護学科成人看護学領域 (急性期))  
鈴木 帆奈 (浜松医科大学医学部附属病院集中治療部)

- PD31-1 魅力ある ICU を作る  
濱本 実也 (公立陶生病院集中治療室)
- PD31-2 最善の集中治療看護を目指すための課題と望ましい未来  
立野 淳子 (小倉記念病院)

PD31-3 集中治療看護の標準化を見据えた認証制度導入の課題と未来

櫻本 秀明<sup>1</sup>, 植村 桜<sup>1</sup>, 古厩 智美<sup>1</sup>, 河合 佑亮<sup>1</sup>, 中田 諭<sup>1</sup>, 北別府 孝輔<sup>1</sup>, 有田 孝<sup>1</sup>, 白坂 雅子<sup>1</sup>, 石川 幸司<sup>1</sup>, 河原 良美<sup>1</sup>, 濱本 実也<sup>2</sup>, 立野 淳子<sup>2</sup>, 卯野木 健<sup>3</sup> (1. 日本集中治療医学会学会認証看護師検討委員会 (Ad Hoc), 2. 学会認証看護師検討委員会 (Ad Hoc) オフザーバー, 3. 学会認証看護師検討委員会 (Ad Hoc) 担当理事)

3月4日(土) 8:50~9:50 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン

パネルディスカッション 32 (PD) 看護師必見! 重要研究をレビューする

座長: 佐藤 隆平 (神戸市看護大学療養生活看護学領域急性期看護学分野)  
山田 章子 (山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系看護学講座)

PD32-1 フレイルとオーラルフレイルについてのレビュー

北山 未央 (金沢医科大学病院)

PD32-2 PICS 最新知見 この論文をどう活かすか

吉野 靖代 (駒沢女子大学)

PD32-3 私の臨床実践に影響を与えた論文と英語が苦手な私が英語論文を読むために行った10のこと

中川 遥 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科専門職学位課程)

3月4日(土) 12:40~14:10 第7会場 国立京都国際会館 1F スワン

パネルディスカッション 33 (PD) 劇的救命! 偶発性低体温症の治療アンビリーバボー

座長: 高氏 修平 (旭川医科大学救急医学講座)  
三宅 康史 (帝京大学医学部救急医学講座 / 附属病院高度救命救急センター)

PD33-1 偶発性低体温症へのECMOによる復温治療

高氏 修平<sup>1</sup>, 早川 峰司<sup>2</sup> (1. 旭川医科大学救急医学講座, 2. 北海道大学病院救急科)

PD33-2 低体温症を伴う心停止に対するECPRについて

文屋 尚史, 柿崎 隆一郎, 沢本 圭悟, 成松 英智 (札幌医科大学医学部救急医学講座)

PD33-3 「劇的救命!」につなげる偶発性低体温症の予後予測

岡田 遥平<sup>1,2</sup> (1. 国立シンガポール大学 Duke-NUS medical school, 2. 京都大学大学院予防医療学分野)

PD33-4 偶発性低体温症における感染症を俯瞰する

金子 仁<sup>1</sup>, 松村 一希<sup>1</sup>, 光銭 大裕<sup>1</sup>, 濱口 純<sup>1</sup>, 堀越 佑一<sup>1</sup>, 三宅 康史<sup>2</sup>, 清水 敬樹<sup>1</sup> (1. 東京都立多摩総合医療センター救命・集中治療科, 2. 帝京大学医学部救急医学講座)

PD33-5 偶発性低体温症における復温方法の評価について

神田 潤 (帝京大学医学部救急医学講座)

3月4日(土) 8:00~9:30 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E

パネルディスカッション 34 (PD) Critical Care EEG ~今, そして未来~  
(日本集中治療医学会・日本神経学会 ジョイントパネルディスカッション)

座長: 池田 昭夫 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)  
河北 賢哉 (香川大学医学部附属病院救命救急センター)

PD34-1 Critical Care 領域における持続脳波モニタリングの有用性

中川 俊<sup>1</sup>, 江川 悟史<sup>2</sup>, 日野 真彰<sup>1</sup>, 岡崎 哲<sup>1</sup>, 長谷川 綾香<sup>1</sup>, 藤井 修一<sup>1</sup> (1. TMG あさか医療センター神経集中治療部, 2. コロンビア大学附属病院神経集中治療)



- PD34-2 神経救急・神経集中治療における脳波判読の実際：脳神経内科から集中治療科へのメッセージ  
吉村 元（神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科）
- PD34-3 ICUにおける持続脳波モニタリングの活かし方  
則末 泰博（東京ベイ・浦安市川医療センター）
- PD34-4 amplitude-integrated EEG/SEF モードによる小児急性脳症の神経学的予後予測  
塚原 紘平（岡山大学病院高度救命救急センター）
- PD34-5 慢性てんかんと critical care EEG の相違の総論  
池田 昭夫（京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座）

**3月4日（土） 9：40～11：10 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E**  
**パネルディスカッション 35 (PD) 最新神経集中治療 NEWS**

座長：永山 正雄（国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学）  
一二三 亨（聖路加国際病院救急部・救命救急センター）

- PD35-1 神経集中治療：最近のトピック Stroke 編  
末廣 栄一（国際医療福祉大学成田病院脳神経外科）
- PD35-2 PCASに関連した「神経集中治療 最近のトピック」  
井上 明彦（兵庫県災害医療センター救急部）
- PD35-3 最新の神経集中治療。一神経筋疾患を中心に—  
星山 栄成（獨協医科大学脳神経内科 / 救命救急センター）

**3月4日（土） 8：00～9：30 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**パネルディスカッション 36 (PD) あついぞ！治療も気持ちも！—熱傷診療における集中治療医の役割—**

座長：松嶋 麻子（名古屋市立大学大学院医学研究科救命救急医療学）

- PD36-1 重症熱傷における栄養療法；施設プロトコール作成と間接熱量測定 (IC) による患者管理の工夫  
海塚 安部<sup>1,2</sup> (1. 健和会大手町病院集中治療科, 2. 製鉄記念八幡病院救急・集中治療部)
- PD36-2 バリあつい重症熱傷診療 - 杏林流感染管理 -  
海田 賢彦, 吉川 慧, 持田 勇希, 山口 芳裕（杏林大学医学部救急医学）
- PD36-3 ハイ・ボリューム熱傷センターにおける集中治療医の役割  
大須賀 章倫（JCHO 中京病院）
- PD36-4 King of Intensive Care としての熱傷診療を標準化する  
井上 貴昭, 星野 哲也, 榎本 有希（筑波大学医学医療系救急・集中治療医学）

**3月4日（土） 8：00～9：30 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**パネルディスカッション 37 (PD) メタ解析パンデミックへの備え**

座長：江木 盛時（京都大学大学院医学研究科侵襲反応制御医学講座・麻酔科学分野）  
久志本 成樹（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野）

- PD37-1 ネットワークメタ解析の要点とプレゼンテーション  
藤井 智子（東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部）
- PD37-2 診療ガイドラインにおけるメタ解析と医学研究論文としてのメタ解析は何か違うのか  
近藤 豊（順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科）

- PD37-3   メタ解析で示された結果を臨床に活かすためには？  
矢田部 智昭（公立西知多総合病院救急診療センター）
- PD37-4   メタ解析論文の解釈の仕方について  
井口 竜太（筑波大学医学医療系ヘルスサービス開発研究センター）

**3月4日（土） 9：40～11：10 第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1**  
**パネルディスカッション 38（PD） RCTの未来形？アダプティブデザインって何だ!？**

座長：藤谷 茂樹（聖マリアンナ医科大学救急医学）  
山下 千鶴（藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

- PD38-1   臨床試験方法論のパラダイムシフト：プラットフォーム試験の有用性  
平川 晃弘（東京医科歯科大学大学院臨床統計学分野）
- PD38-2   COVID－19を含む重症市中肺炎における侵襲的人工呼吸管理：REMAP－CAPへの参加  
の実際  
片岡 惇<sup>1</sup>，木庭 茂<sup>1</sup>，山下 千鶴<sup>2</sup>，一原 直昭<sup>3</sup>，藤谷 茂樹<sup>4</sup>（1. 練馬光が丘病院総合救急診療科集中  
治療部門，2. 藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座，3. 東京大学医療品質評価学講座，4. 聖マリア  
ンナ医科大学救急医学）
- PD38-3   心停止後症候群に対する集中治療の有効性を検討するバイズ流プラットフォーム試験構想  
黒田 泰弘<sup>1</sup>，河北 賢哉<sup>2</sup>，井上 明彦<sup>3</sup>，一二三 亨<sup>4</sup>，一原 直昭<sup>5</sup>，斎藤 浩輝<sup>6</sup>，藤谷 茂樹<sup>6</sup>，  
横堀 将司<sup>7</sup>（1. 香川大学医学部救急災害医学，2. 香川大学医学部附属病院救命救急センター，3. 兵  
庫県災害医療センター救急部，4. 聖路加国際病院救急部，5. 東京大学大学院医学系研究科医療品質  
評価学講座，6. 聖マリアンナ医科大学救急医学，7. 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野）
- PD38-4   パンデミック対応型国際プラットフォーム試験 REMAP-CAPの現在と今後の展望  
斎藤 浩輝（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

## 【ワークショップ】

3月2日(木) 9:20～10:50 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら  
ワークショップ1 (WS) クイズで学ぶ循環器集中治療 2023 (心原性ショック)

座長：菊地 研(獨協医科大学救命救急センター)  
田原 良雄(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

- WS01-1 心原性ショックの急性期診療—救急診療から集中治療までを極める—  
田中 哲人<sup>1</sup>、松尾 邦浩<sup>2</sup>、的場 哲哉<sup>3</sup> (1.名古屋大学医学部附属病院循環器内科, 2.福岡大学筑紫病院, 3.九州大学病院)
- WS01-2 症例提示1—心原性ショックを疑う症例の判断—  
桐ヶ谷 仁<sup>1</sup>、岡崎 雄介<sup>2</sup>、山本 剛<sup>3</sup>、的場 哲哉<sup>4</sup> (1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター, 2.製鉄室蘭記念病院, 3.日本医科大学付属病院, 4.九州大学病院)
- WS01-3 症例提示2—ショック症例に対する初期診療医の役割り—  
中山 尚貴<sup>1</sup>、石津 智子<sup>2</sup>、的場 哲哉<sup>3</sup> (1.神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科, 2.筑波大学附属病院循環器内科, 3.九州大学病院循環器内科)
- WS01-4 症例提示3—ショック症例に対する心血管作動薬の選択—  
山本 正啓<sup>1</sup>、細谷 弓子<sup>2</sup>、花田 裕之<sup>3</sup>、辻田 賢一<sup>4</sup>、田原 良雄<sup>5</sup>、的場 哲哉<sup>6</sup> (1.熊本大学大学院地域医療ネットワーク推進学寄附講座, 2.橿原記念病院循環器内科, 3.弘前大学大学院医学研究科救急災害医学講座, 4.熊本大学病院循環器内科, 5.国立循環器病研究センター, 6.九州大学病院循環器内科)
- WS01-5 症例提示4—急性冠症候群によるショック症例に関する治療の優先順位—  
片迫 彩<sup>1</sup>、坂本 和生<sup>2</sup>、羽柴 克孝<sup>3</sup>、的場 哲哉<sup>4</sup> (1.国立循環器病研究センター心臓血管内科, 2.九州大学病院冠動脈疾患治療部, 3.済生会横浜市南部病院循環器内科, 4.九州大学病院循環器内科)
- WS01-6 心原性ショック症例の集中治療室における管理  
中島 啓裕<sup>1</sup>、近藤 徹<sup>2</sup>、新井 真理奈<sup>3</sup>、的場 哲哉<sup>4</sup> (1.ミシガン大学救急集中治療医学, 2.名古屋大学医学部附属病院循環器内科, 3.国立循環器病研究センター心臓血管内科, 4.九州大学病院循環器内科)

3月2日(木) 14:25～15:55 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら  
ワークショップ2 (WS) 血行動態モニタリングを現場に活かすには

座長：清野 雄介(聖マリアンナ医科大学麻酔学教室)  
山本 剛(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科)

- WS02-1 血行動態評価を俯瞰する  
川上 大裕(飯塚病院集中治療科)
- WS02-2 肺動脈カテーテルと心エコー図で血行動態を診る  
細田 勇人(近森病院循環器内科/集中治療センター)
- WS02-3 敗血症患者の血行動態モニタリング  
モニタリングの方法とそれを用いて治療にどのようにつなげているか  
下園 崇宏(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・集中治療部)
- WS02-4 経皮的機械的循環補助患者の血行動態モニタリング  
澤田 賢一郎<sup>1,2</sup>、岩井 雄大<sup>1</sup>、真玉 英生<sup>1</sup>、本田 怜史<sup>1</sup>、片岡 有<sup>1,2</sup>、浅海 泰栄<sup>1</sup>、田原 良雄<sup>1</sup>、野口 暉夫<sup>1,2</sup> (1.国立循環器病研究センター心臓血管内科心臓血管集中治療科, 2.熊本大学大学院医学教育学部循環器先進医療学)

**3月2日 (木) 9:00～10:30 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**ワークショップ 3 (WS) 痛い痛い飛んで!!!—どうする術後疼痛管理チーム—**

座長：安藝 敬生（長崎大学病院薬剤部）  
松本 美志也（山口大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生学講座）

- WS03-1 術後疼痛管理チームにおける医師の役割  
谷口 英喜<sup>1</sup>、佐藤 智行<sup>2</sup>、上田 朝美<sup>2</sup>、佐藤 貴紀<sup>2</sup>、池田 敏明<sup>2</sup>（1. 済生会横浜市東部病院患者支援センター、2. 済生会横浜市東部病院麻酔科）
- WS03-2 術後疼痛管理における薬剤師の果たすべき役割  
舟越 亮寛（医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部）
- WS03-3 術後疼痛管理チーム活動 14年間のキセキ  
～疼痛管理における看護師の役割～  
井上 真美<sup>1</sup>、笹田 祥子<sup>1</sup>、三好 寛治<sup>2</sup>、中村 隆治<sup>2</sup>、宮本 佳奈<sup>3</sup>、柴田 ゆうか<sup>3</sup>、森重 水貴<sup>4</sup>（1. 広島大学病院看護部手術部、2. 広島大学病院麻酔科、3. 広島大学病院薬剤部、4. 広島大学病院診療支援部臨床工学部門）
- WS03-4 J-TAPS: 自治医科大学における術後疼痛チームの実際  
原 鉄人、平 幸輝、鈴木 昭広（自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座）

**3月2日 (木) 11:10～12:40 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**ワークショップ 4 (WS) JIPAD 四方山話 2023**

座長：岡本 洋史（聖路加国際病院集中治療科）  
橋場 英二（弘前大学医学部附属病院集中治療部）

- WS04-1 JIPAD update 2023  
内野 滋彦（自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部）
- WS04-2 JIPAD と DPC データの連携  
田上 隆（日本医科大学武蔵小杉病院救命救急科）
- WS04-3 JPICS データベース  
畠山 淳司<sup>1,2</sup>、井上 茂亮<sup>2</sup>、西田 修<sup>2</sup>（1. 大阪医科薬科大学救急医学教室、2. PICS 対策・生活の質改善検討委員会）
- WS04-4 CRISIS  
橋本 悟（NPO 法人集中治療コラボレーションネットワーク）

**3月2日 (木) 14:25～15:55 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2**  
**ワークショップ 5 (WS) 私がやらねば誰がやる？薬物療法のスペシャリストがやっているタスクシフト・シェアリング**

座長：今井 徹（日本大学医学部附属板橋病院薬剤部）  
太田 浩平（広島大学大学院医学系科学研究科救急集中治療医学）

- WS05-1 集中治療室の薬剤師の業務はそのプロフェッショナルリズムに基づいたものとすべきである  
松島 暁<sup>1</sup>、山本 麻里子<sup>2</sup>、是永 真甫<sup>1</sup>、茂野 綾美<sup>1</sup>、大林 正和<sup>1</sup>、浅田 馨<sup>1</sup>（1. 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター救急科、2. 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター薬剤部）
- WS05-2 医薬品に関連した臨床検査オーダーのタスク・シフティング  
立石 裕樹<sup>1</sup>、宮津 大輔<sup>1</sup>、田中 博和<sup>1</sup>、江田 陽一<sup>2</sup>、渡邊 裕之<sup>1</sup>（1. 医療法人徳洲会福岡徳洲会病院薬剤部、2. 同集中治療センター）
- WS05-3 Rapid Response System (RRS) における薬剤師の関与 実例から学ぶ～今後の展望  
鈴木 善樹（埼玉医科大学病院薬剤部）

WS05-4 薬物療法の効果を最大限発揮するために薬剤師ができること  
楡山 洋子 (広島大学病院薬剤部)

3月3日(金) 9:50~11:20 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら  
ワークショップ6 (WS) バイタルトーク ~集中治療室で行う緊急 ACP

座長: 伊藤 香 (帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター・Acute Care Surgery 部門)  
澤村 匡史 (済生会熊本病院集中治療室)

- WS06-1 バイタルトーク~集中治療室で行う緊急 ACP ~ (聴講者参加型デモセッション)  
伊藤 香<sup>1</sup>, 中川 俊一<sup>2</sup>, 植村 健司<sup>3</sup>, 大西 恵理子<sup>4</sup>, 湯浅 美鈴<sup>5</sup>, 大内 啓<sup>6</sup> (1. 帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2. コロンビア大学成人緩和ケア科, 3. メリーランド大学老年医学・緩和医療部門, 4. オレゴン健康科学大学家庭医療科, 5. 聖隷三方原病院ホスピス科, 6. ハーバード大学プリガムアンドウイメンズ病院救急部)
- WS06-2 大内 啓 (ハーバード大学医学部附属プリガムアンドウイメンズ病院救急部)
- WS06-3 湯浅 美鈴 (聖隷三方原病院ホスピス科)
- WS06-4 中川 俊一 (コロンビア大学成人緩和ケア科)
- WS06-5 植村 健司 (University of Maryland School of Medicine Division of Gerontology, Geriatrics and Palliative Medicine)

3月3日(金) 14:10~15:40 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら  
ワークショップ7 (WS) 私達はこう考える! エキスパート看護師の思考法

座長: 尾野 敏明 (東海大学看護師キャリア支援センター集中ケア認定看護師教育課程)  
片山 雪子 (公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院看護部)

- WS07-1 どうやって他者に伝える? 自分の思考過程  
尾崎 裕基, 真弓 尚也, 柴岡 萌絵, 飯島 麻理, 藤原 千尋 (東海大学医学部付属八王子病院看護部)
- WS07-2 起こってほしくない出来事から逆算する異常の早期発見・重症化回避  
北別府 孝輔 (岡山大学保健学域基礎看護学)
- WS07-3 集中治療を受ける高齢者の生活機能に着目したケアについて考える  
河原 良美 (徳島大学病院)
- WS07-4 重症化している患者のケアには何が必要?一緒に考えていこう!!  
杉島 寛 (久留米大学病院)

3月3日(金) 9:50~11:20 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2  
ワークショップ8 (WS) もうやめなはれ~薬物療法の Less is more

座長: 柴田 啓智 (済生会熊本病院薬剤部)  
山口 均 (一宮市立市民病院救命救急センター)

- WS08-1 急性腎障害予防のための less is more (polypharmacy と大量輸液)  
谷澤 雅彦<sup>1</sup>, 佐々木 彰<sup>2</sup>, 西脇 宏樹<sup>3</sup> (1. 聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科, 2. 京都大学医学部附属病院臨床研究教育研修部, 3. 昭和大学藤が丘病院腎臓内科)
- WS08-2 抗菌薬関連下痢症に対する整腸剤の Less is more  
山田 和範 (社会医療法人医仁会中村記念病院)
- WS08-3 ICUにおける腸管理 便秘・下痢回避プロトコルの有用性  
中村 通孝<sup>1</sup>, 阪井 彩香<sup>2</sup>, 塩井 建太郎<sup>3</sup>, 村上 梓<sup>4</sup>, 竹本 聖<sup>1</sup>, 立木 規与秀<sup>1</sup>, 金城 昌志<sup>1</sup>, 江崎 麻衣子<sup>1</sup>, 福田 俊輔<sup>1</sup>, 喜久山 紘太<sup>1</sup>, 中平 敦士<sup>1</sup>, 安宅 一晃<sup>1</sup> (1. 奈良県総合医療センター集中治療部, 2. 奈良県総合医療センター薬剤部, 3. 奈良県総合医療センター栄養管理部, 4. 奈良県総合医療センターリハビリテーション部)

WS08-4 各種酵素阻害薬の less is more  
吉廣 尚大 (広島大学病院薬剤部)

3月4日(土) 12:40~14:10 第6会場 国立京都国際会館 1F さくら  
ワークショップ9 (WS) お隣さんの腹臥位療法

座長: 倉橋 清泰 (国際医療福祉大学成田病院麻酔・集中治療科)  
高島 泉 (看護部外科系集中治療科)

WS09-1 当院での腹臥位療法の特色と課題

喜久山 和貴<sup>1</sup>, 小谷 透<sup>1</sup>, 秋澤 美沙希<sup>2</sup>, 明利 里穂<sup>2</sup>, 水流 洋平<sup>2</sup>, 三浦 まき<sup>2</sup> (1. 昭和大学病院集中治療科, 2. 昭和大学病院5ICU・CCU)

WS09-2 慈恵 ICU の腹臥位療法

阿部 建彦<sup>1</sup>, 山口 庸子<sup>2</sup>, 鶴岡 資恵<sup>2</sup>, 河辺 壮太<sup>2</sup>, ウォン シェ ロサナ<sup>2</sup>, 田中 久代<sup>2</sup>, 池田 潤平<sup>3</sup>, 根本 和征<sup>3</sup>, 藤井 智子<sup>1</sup> (1. 東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部, 2. 東京慈恵会医科大学附属病院看護部 (ICU), 3. 東京慈恵会医科大学附属病院臨床工学部 (ICU))

WS09-3 空気流動ベッドを用いた腹臥位療法

和田 健志郎<sup>12</sup> (1. 札幌医科大学医学部救急医学講座, 2. 帯広厚生病院救急科)

WS09-4 当院における腹臥位療法とその取り組み

濱口 純<sup>1</sup>, 山中 歩<sup>2</sup>, 米田 龍平<sup>1</sup>, 佐藤 裕一<sup>1</sup>, 清水 敬樹<sup>1</sup> (1. 東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, 2. 東京都立多摩総合医療センター救命救急センター・看護部)

3月4日(土) 9:40~11:10 第10会場 国立京都国際会館 2F Room B-2  
ワークショップ10 (WS) 解はリモートにあり~遠隔ICU

座長: 久志本 成樹 (東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)  
橋本 悟 (NPO 法人集中治療コラボレーションネットワーク ICON 理事長)

WS10-1 遠隔ICUを本邦で普及するための保険戦略と委員会の活動について

高木 俊介<sup>1</sup>, 野村 岳志<sup>2</sup>, 八反丸 善裕<sup>3</sup>, 松村 洋輔<sup>4</sup>, 飯塚 悠祐<sup>5</sup>, 大下 慎一郎<sup>6</sup>, 神尾 直<sup>7</sup>, 小谷 透<sup>8</sup>, 大綱 毅彦<sup>9</sup>, 堤貴彦<sup>14</sup>, 長谷川 高志<sup>10</sup>, 橋本 悟<sup>11</sup>, 久志本 成樹<sup>12</sup>, 西田 修<sup>13</sup> (1. 横浜市立大学附属病院集中治療部, 2. 湘南鎌倉徳洲会病院, 3. 東京大学医学部附属病院, 4. 千葉県救急医療センター集中治療科, 5. 自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部, 6. 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療学, 7. 湘南鎌倉総合病院集中治療部, 8. 昭和大学病院集中治療部, 9. 千葉大学医学部附属病院救急・集中治療部, 10. NPO 法人日本遠隔医療協会, 11. 集中治療コラボレーションネットワーク, 12. 東北大学大学院医学研究科外科病態学講座救急医学分野, 13. 藤田医科大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 14. 京都大学医学部大学院)

WS10-2 ICU 領域でのデータ標準化について

齊藤 健一<sup>1</sup>, 小林 慎治<sup>2</sup> (1. 京都大学医学部附属病院医療情報企画部, 2. 国立保健医療科学院)

WS10-3 急性期領域で診療報酬に繋がる遠隔診療について

長谷川 高志 (特定非営利活動法人日本遠隔医療協会)

WS10-4 リモート監視と情報共有を目指したシステム構築

神尾 直 (湘南鎌倉総合病院)

3月4日(土) 8:00~9:30 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2  
ワークショップ11 (WS) めざせ Less is more (臓器別編)

座長: 後藤 安宣 (市立奈良病院救急集中治療センター)  
中根 正樹 (山形大学医学部附属病院救急部高度集中治療センター)

WS11-1 私のすすめる "Less is more"

太田 啓介 (静岡県立総合病院集中治療センター)

- WS11-2 小児集中治療室における5%アルブミン製剤使用を減らす医療の質改善の取り組み**  
 稲田 雄<sup>1,2</sup>, 山口(中上) 悦子<sup>2</sup>, 伊東 幸恵<sup>1</sup>, 赤松 貴彬<sup>1</sup>, 森田 可奈子<sup>1</sup>, 祖父江 俊樹<sup>1</sup>, 井坂 華奈子<sup>1</sup>, 旗智 武志<sup>1</sup>, 清水 義之<sup>1</sup>, 竹内 宗之<sup>1</sup> (1. 大阪母子医療センター集中治療科, 2. 大阪公立大学大学院医学研究科医療の質・安全管理学)
- WS11-3 心臓術後早期の強心薬が入院期間に与える影響：多施設後ろ向き観察研究 BROTHER study 事後解析**  
 吉田 拓生<sup>1,2</sup>, 水原 敬洋<sup>2</sup>, 篠田 覚<sup>2</sup>, 後藤 温<sup>2</sup>, 小谷 祐樹<sup>3,4</sup> (1. 東京慈恵会医科大学救急医学講座 附属柏病院集中治療部, 2. 横浜市立大学データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻, 3. 医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科, 4. Vita-Salute San Raffaele 大学麻酔集中治療部門)
- WS11-4 頭蓋内圧管理における Less is more !**  
 小林 智行, 佐藤 聖子, 村上 博基, 白井 邦博, 平田 淳一 (兵庫医科大学救急災害医学講座)
- WS11-5 人工呼吸管理離脱に hyperoxia は有用か：多施設前向きコホート研究における post-hoc 解析**  
 田中 愛子<sup>1,2</sup>, 平尾 収<sup>3</sup>, 小坂 順子<sup>4</sup>, 古島 夏奈<sup>5</sup>, 牧 裕一<sup>6</sup>, 内山 昭則<sup>1</sup>, 森松 博史<sup>4</sup>, 溝淵 知司<sup>5</sup>, 小竹 良文<sup>6</sup>, 藤野 裕士<sup>1</sup> (1. 大阪大学大学院医学系研究科麻酔集中治療医学教室, 2. 福井大学医学部附属病院集中治療部, 3. 大阪急性期・総合医療センター麻酔科, 4. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座, 5. 神戸大学大学院医学系研究科麻酔科学分野, 6. 東邦大学医療センター大橋病院麻酔科講座)
- WS11-6 重症患者と家族の心理的介入に焦点を当てた ICU 退室後フォローアップ：系統的レビューとメタ解析**  
 吉廣 尚大<sup>1</sup>, 對東 俊介<sup>2</sup>, 山内 康太<sup>3</sup>, 喜納 俊介<sup>1</sup>, 寺山 毅郎<sup>5</sup>, 堤 悠介<sup>6</sup>, 片岡 裕貴<sup>7</sup>, 卯野木 健<sup>8</sup> (1. 広島大学病院薬剤部, 2. 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門, 3. 製鉄記念八幡病院リハビリテーション部, 4. 中頭病院リハビリテーション部, 5. 防衛医科大学校医学教育部精神科学, 6. 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター救急科, 7. 京都府民医連あすかい病院内科, 8. 札幌市立大学看護学校急性期看護学部)

**3月4日(土) 9:40~11:10 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**

**ワークショップ 12 (WS) 次の Less is more へ**

座長：二階 哲朗 (島根大学附属病院集中治療部)  
 森山 潔 (杏林大学病院麻酔科)

- WS12-1 Beyond the "Less is More" !**  
 太田 啓介 (静岡県立総合病院集中治療センター)
- WS12-2 わが国が目指す PICU のユニット数とベッド数 ~Less PICUs could be better outcomes~**  
 森本 健司<sup>1</sup>, 齊藤 修<sup>2</sup> (1. モナシュ小児病院小児集中治療科, 2. 東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部集中治療科)
- WS12-3 The more, the better**  
 小野 雄一郎 (兵庫県立加古川医療センター救命救急センター)
- WS12-4 我々の集中治療の細部に神は宿っているか？**  
 太田 浩平 (広島大学大学院救急集中治療医学)

**3月4日(土) 12:40~13:40 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2**

**ワークショップ 13 (WS) みなさん今やる気でない？でない！—集中治療医のモチベーション維持と教育—**

座長：細川 康二 (福井大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

- WS13-1 「救急・集中治療のできる総合医」という提案**  
 山田 法顕, 岩下 義明 (島根大学医学部救急医学講座)
- WS13-2 教育こそが集中治療医のモチベーションである**  
 比留間 孝広<sup>1,2</sup>, 友利 雅貴<sup>1</sup>, 影山 理恵<sup>1,2</sup>, 土川 幹史<sup>1</sup>, 橋本 克彦<sup>1,2</sup> (1. 総合南東北病院救急集中治療科, 2. 福島県立医科大学救急・生体侵襲制御学講座)

WS13-3 今こそモチベーションを高めよう！－集中治療の今後を見据えて－  
赤塚 正幸, 巽 博臣, 升田 好樹 (札幌医科大学医学部集中治療医学)

## 【PCT 特別プログラム】

3月2日 (木) 14:25～15:25 第8会場 国立京都国際会館 1F Room E  
PCT 特別プログラム (PCT) 敗血症におけるプロカルシトニンの活用

座長：谷口 巧 (金沢大学麻酔・集中治療医学分野)

PCT-1 Use of PCT for Managing sepsis patients in the ICU – an international Perspective  
Philipp Schuetz (Internal Medicine and Emergency Medicine, Aarau Hospital, Switzerland)

PCT-2 敗血症におけるプロカルシトニンの活用  
藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学救急医学)

企画：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社  
協賛：アボットジャパン合同会社,  
シーメンスヘルスケアダイアグノスティックス株式会社,  
ロシユ・ダイアグノスティックス株式会社

## 【Pros-Cons】

3月3日 (金) 12:50～13:50 第9会場 国立京都国際会館 2F Room B-1  
Pros-Cons (PC) 予定 ICU 入室前に患者訪問は必要なのか？

座長：濱本 実也 (公立陶生病院集中治療室)  
茂呂 悦子 (自治医科大学附属病院看護部)

PC-1 予定 ICU 入室前に患者訪問は必要である。実施の有無や方法は各施設の実情にあわせて判断する必要がある。

河合 佑亮 (藤田医科大学病院看護部)

PC-2 Cons: 予定 ICU 入室前に患者訪問は必要ない

櫻本 秀明 (日本赤十字九州国際看護大学クリティカルケア・災害看護領域)

## 【優秀論文賞】

3月2日 (木) 9:00～10:30 第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2  
優秀論文賞 (BRL)

座長：川崎 達也 (静岡県立こども病院集中治療センター)  
小竹 良文 (東邦大学医療センター大橋病院麻酔科)